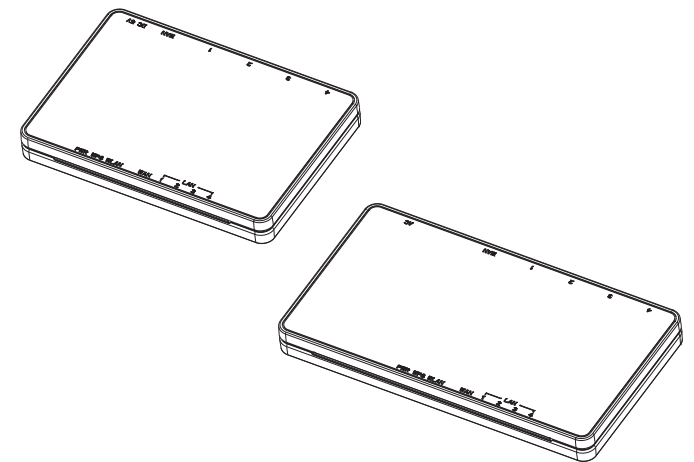
Broadband Router

300Mbps対応ギガビットイーサ　超小型無線LANルータ

LAN-W300N/PGRB

LAN-W300N/IGRB

User's Manual

このマニュアルは、別冊の「セットアップガイド」とあわせてお読みください。

●このマニュアルで使われている用語

このマニュアルでは、一部の表記を除いて以下の用語を使用しています。

用　語	意　味
本製品	無線LANブロードバンドルータ「LAN-W300N/PGRB」および「LAN-W300N/IGRB」を総称して「本製品」と表記しています。
11n/11g/11b	IEEE802.11n規格を「11n」、IEEE802.11g規格を「11g」、IEEE802.11b規格を「11b」と省略して表記している場合があります。
無線ルータ	無線LANブロードバンドルータを略して「無線ルータ」と表記しています。
無線AP	「無線LANアクセスポイント」のことを略して「無線AP」と表記しています。
無線親機	無線ルータ、無線APを総称して「無線親機」と表記しています。
無線子機	無線LAN機能を内蔵したパソコン、無線アダプタを取り付けたパソコン、無線コンバータを接続した機器などを総称して「無線子機」と表記しています。また、無線アダプタ、無線コンバータそのものを「無線子機」として表記している場合があります。
有線クライアント	有線LAN機能または有線LANアダプタを搭載したパソコンなどを「有線クライアント」と表記しています。

●このマニュアルで使われている記号

記　号	意　味
注 意	作業上および操作上で特に注意していただきたいことを説明しています。この注意事項を守らないと、けがや故障、火災などの原因になることがあります。注意してください。
	説明の補足事項や知っておくと便利なことを説明しています。

ご注意

300Mbps対応ギガビットイーサ　超小型無線LANルータ

LAN-W300N/PGRB
LAN-W300N/IGRB

User's Manual
ユーザーズマニュアル

はじめに

この度は、ロジテックの300Mbps対応ギガビットイーサ　超小型無線LANルータをお買い上げいただき誠にありがとうございます。このマニュアルには本製品を使用するにあたっての手順や設定方法が説明されています。また、お客様が本製品を安全に扱っていただくための注意事項が記載されています。導入作業を始める前に、必ずこのマニュアルをお読みになり、安全に導入作業をおこなって製品を使用するようにしてください。

このマニュアルは、製品の導入後も大切に保管しておいてください。

安全にお使いいただくために

けがや故障、火災などを防ぐために、ここで説明している注意事項を必ずお読みください。

警　告	**この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などによる死亡や大けがなど人身事故の原因になります。**
注　意	**この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり、他の機器に損害を与えたりすることがあります。**

警　告

本製品の分解、改造、修理をご自分でおこなわないでください。
火災や感電、故障の原因になります。また、故障時の保証の対象外となります。

本製品から発煙や異臭がしたときは、直ちに使用を中止したうえで電源を切り、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。そのあと、ご購入店もしくは当社テクニカル・サポートまでご連絡ください。
そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因になります。

本製品に水などの液体や異物が入った場合は、直ちに使用を中止したうえで電源を切り、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。そのあと、ご購入店もしくは当社テクニカル・サポートまでご連絡ください。
そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因になります。

本製品を、水を使う場所や湿気の多いところで使用しないでください。
火災や感電、故障の原因になります。

注　意

本製品を次のようなところで使用しないでください。
・高温または多湿なところ、結露を起こすようなところ
・直射日光のあたるところ
・平坦でないところ、土台が安定していないところ、振動の発生するところ
・静電気の発生するところ、火気の周辺

長期間本製品を使用しないときは、電源プラグを抜いておいてください。
故障の原因になります。

無線LANをご使用になるにあたってのご注意

●無線LANは無線によりデータを送受信するため盗聴や不正なアクセスを受ける恐れがあります。無線LANをご使用になるにあたってはその危険性を十分に理解したうえ、データの安全を確保するためセキュリティ設定をおこなってください。また、個人データなどの重要な情報は有線LANを使うこともセキュリティ対策として重要な手段です。

●本製品は電波法に基づき、特定無線設備の認証を受けておりますので免許を申請する必要はありません。ただし、以下のことは絶対におこなわないようにお願いします。

・本製品を分解したり、改造すること
・本製品の背面に貼り付けてある認証ラベルをはがしたり、改ざん等の行為をすること
・本製品を日本国外で使用すること

これらのことに違反しますと法律により罰せられることがあります。

●心臓ペースメーカーを使用している人の近く、医療機器の近くなどで本製品を含む無線LANシステムをご使用にならないでください。心臓ペースメーカーや医療機器に影響を与え、最悪の場合、生命に危険を及ぼす恐れがあります。

●電子レンジの近くで本製品を使用すると無線LANの通信に影響を及ぼすことがあります。

もくじ

安全にお使いいただくために ・・・・・・・・・・・・ 4

Chapter 1 概要編 7

1 製品の保証について ・・・・・・・・・・・・ 8
2 サポートサービスについて ・・・・・・・・・・・・ 9
3 本製品の概要について ・・・・・・・・・・・・ 10
本製品の特長 ・・・・・・・・・・・・ 10
本製品の動作環境 ・・・・・・・・・・・・ 12
4 各部の名称とはたらき ・・・・・・・・・・・・ 13
5 設定ユーティリティについて ・・・・・・・・・・・・ 15
6 セットアップを始める前に ・・・・・・・・・・・・ 16
接続事業者との契約状況を確認する ・・・・・・・・・・・・ 16
ブロードバンドモデムのタイプについて ・・・・・・・・・・・・ 17
設定に必要なプロバイダ情報を用意する ・・・・・・・・・・・・ 17

Chapter 2 導入編 19

1 セットアップの流れ ・・・・・・・・・・・・ 20
2 本製品を接続する ・・・・・・・・・・・・ 22
本製品を接続する ・・・・・・・・・・・・ 22
3 ウィザードを使ったセットアップ ・・・・・・・・・・・・ 25
セットアップツールについて ・・・・・・・・・・・・ 25
設定ユーティリティを表示する ・・・・・・・・・・・・ 26
インターネット接続ウィザードでセットアップする ・・ 28
4 無線LANで接続する ・・・・・・・・・・・・ 31
はじめにご確認ください ・・・・・・・・・・・・ 31
WPSボタンを使って接続する ・・・・・・・・・・・・ 32
PINコードを入力して接続する ・・・・・・・・・・・・ 34
手動設定で接続する ・・・・・・・・・・・・ 36

Chapter 3 詳細設定編 39

1 設定ユーティリティ画面について ・・・・・・・・・・・・ 40
設定ユーティリティ画面を表示する ・・・・・・・・・・・・ 40
設定ユーティリティ画面の内容 ・・・・・・・・・・・・ 41
2 インターネット接続ウィザード ・・・・・・・・・・・・ 42
3 無線設定 ・・・・・・・・・・・・ 43
基本設定 ・・・・・・・・・・・・ 43
上級者向け設定 画面 ・・・・・・・・・・・・ 46
アクセスコントロール 画面 ・・・・・・・・・・・・ 47
WPS機能の設定 ・・・・・・・・・・・・ 49
4 セキュリティを設定する（無線の暗号化） ・・・・・・・・ 50
WEPの設定 ・・・・・・・・・・・・ 51
WPA-PSK/WPA2-PSKの設定 ・・・・・・・・・・・・ 55
5 有線設定 ・・・・・・・・・・・・ 58
LAN側設定 画面 ・・・・・・・・・・・・ 58
固定DHCP設定 画面 ・・・・・・・・・・・・ 59
WAN側設定 画面 ・・・・・・・・・・・・ 61
6 ファイアウォール設定 ・・・・・・・・・・・・ 66
ポートフォワーディング 画面 ・・・・・・・・・・・・ 66
IPv6ブリッジ 画面 ・・・・・・・・・・・・ 68
DMZ 画面 ・・・・・・・・・・・・ 69
7 管理ツール ・・・・・・・・・・・・ 70
機器のステータス 画面 ・・・・・・・・・・・・ 70
DDNS設定 画面 ・・・・・・・・・・・・ 72
ファームウェア更新 画面 ・・・・・・・・・・・・ 74
パスワード設定 画面 ・・・・・・・・・・・・ 75

Appendix 付録編 77

1 サービス情報サイト使用時の設定 ・・・・・・・・・・・・ 78
2 こんなときは ・・・・・・・・・・・・ 80
3 パソコンのIPアドレスの確認方法 ・・・・・・・・・・・・ 83
パソコンのIPアドレスを表示する ・・・・・・・・・・・・ 83
工場出荷時での表示結果 ・・・・・・・・・・・・ 84
4 基本仕様 ・・・・・・・・・・・・ 85

Chapter 1

概要編

1 製品の保証について

製品の保証とサービス

本製品には保証書が付いています。内容をお確かめの上、大切に保管してください。

●保証期間

保証期間はお買い上げの日より1年間です。保証期間を過ぎての修理は有料になります。詳細については保証書をご覧ください。保証期間中のサービスについてのご相談は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

●保証範囲

次のような場合は、弊社は保証の責任を負いかねますのでご注意ください。

- 弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障
- 本製品をお使いになって生じたデータの消失、または破損
- 本製品をお使いになって生じたいかなる結果および、直接的、間接的なシステム、機器およびその他の異常

詳しい保証規定につきましては、保証書に記載された保証規定をお確かめください。

●その他のご質問などに関して

P9「2. サポートサービスについて」をお読みください。

2 サポートサービスについて

よくあるお問い合わせ、対応情報、マニュアル、修理依頼書、付属品購入窓口などをインターネットでご案内しております。ご利用が可能であれば、まずご確認ください。

サポートページ　6409.jp　（http://は必要ありません）

ロジテック・テクニカルサポート（ナビダイヤル）
TEL：0570-050-060
受付時間：月曜日～土曜日 10:00～19:00
（祝日営業）※ただし、夏期、年末年始の特定休業日は除きます。

本製品は、日本国内仕様です。国外での使用に関しては弊社ではいかなる責任も負いかねます。
また国外での使用、国外からの問合せにはサポートを行なっておりません。
This product is for domestic use only. No technical support is available in foreign languages other than Japanese.

テクニカルサポートにお電話される前に

お問合せの前に以下の内容をご用意ください。

・弊社製品の型番
・インターネットに関するプロバイダ契約の書類
・ご質問内容（症状、やりたいこと、お困りのこと）

※可能な限り、電話しながら操作可能な状態でご連絡ください。

3 本製品の概要について

本製品の特長

●IEEE802.11n/g/bに準拠、ギガビット対応の超小型無線LANルータ
11n規格対応、最大300Mbps（理論値）の無線通信に加え、ギガビット通信に対応した4ポートのLAN側コネクタ及び、1ポートのWANコネクタを搭載しています。WAN/LANポートが、従来の10BASE-T/100BASE-TXから超高速のギガに対応することにより、超高速インターネットサービスに最適です。
また、同クラスのスペックでは業界最小の超小型サイズを実現。設置場所を選ばず、モバイルにも最適です。 ※2011年9月末現在

●ACアダプタモデルと電源部内蔵モデル、選べる2タイプをご用意
ACアダプタが付属したモデルと電源部内蔵モデルの2タイプをご用意し、目的やスタイルに合わせてお選びいただけます。ACアダプタ付属モデルは、本製品に付属のACアダプタを接続できるほか、5V、1Aを供給できるminiUSBまたはmicroUSB端子を持つスレート端末などの機器に付属しているACアダプタを接続することで、給電することもできます（※）。
電源部内蔵モデルは、付属の電源ケーブルをACコンセントに接続するだけで気軽に利用できるシンプル設計です。
※5V、1Aを供給できないバスパワー給電では動作しません。

●省電力機能「ロジエコ」を搭載し、節電対策も万全
接続していないポート、リンクしていないポートを自動的に判別し、電力供給量を抑えるほか、接続機器までのLANケーブルの長さによって電力供給量を調節する省電力タイプの無線ルータです。使用者が意識することなく、簡単に節電を実践することができます。

●「かんたんセットアップツール」で、インターネット接続がさらに簡単に
無線アダプタの設定からインターネットの接続までをひとつのセットアップ画面で進めることができる「かんたんセットアップツール」をCD-ROMに収録しています。DHCP接続やNTTフレッツサービスなどによるPPPoE接続など、インターネット接続回線の種別を自動的にチェックし、適切な接続方法が自動的に設定される「おまかせ接続」です。
回線種別をあらかじめ調べて、手動で選択する必要はありません。

●Android専用アプリ「かんたん無線君」をご用意
無線親機に接続するためのAndroid端末専用の設定アプリ「かんたん無線君」をご用意（Androidマーケットからダウンロードする必要があります）。
Android端末専用のアプリを使用することで、簡単にAndroid搭載スマートフォン/タブレットとWi-Fi接続することができます。
※iPhoneなど、Androidを搭載していない端末には対応していません。

●ボタンひとつで設定完了、WPS機能に対応した無線LAN設定方式を採用
面倒な暗号化の設定を意識することなく、簡単に無線LAN接続を設定できる「WPS」機能に対応しています。本製品背面のWPSボタンまたは設定ユーティリティ画面上のWPS実行ボタンを押すことで、セキュリティ設定済みの無線LAN接続を簡単に完了できます。

●スイッチひとつでルータを無効にできる「APモード」搭載
ブロードバンドモデムにルータ機能が内蔵されている場合に、本製品のルータ機能をオフにできるAPモードを装備しています。本体背面のスイッチを切り替えるだけで設定を変更できます。

●IPv6ブリッジ機能を搭載
さまざまなアプリケーションや音声映像を楽しめるIPv6サービスを利用できるように、「IPv6ブリッジ」機能を搭載しています。設定をオフにすることもできます。

●各種無線セキュリティ機能に対応
新しい規格であるWPA-PSK/WPA2-PSKに対応しています。WPAでは、暗号キーを一定時間ごとに自動的に変更しますので、外部からの不正解読が困難になっています。また、発信するSSIDを無線クライアント側で表示されないようにするSSIDステルス機能、無線クライアントのMACアドレスを指定してアクセスを制限するアクセスコントロール機能などを搭載しています。

●Webブラウザベースの設定ユーティリティを搭載
本製品の設定は、クライアントパソコンのWebブラウザ上から、本体に内蔵されたWebベースの設定ユーティリティを起動しておこないます。Webブラウザからの解りやすいメニューで操作できます。インターネット経由でのアクセスも可能です。

●バーチャルサーバ機能を搭載

ポート転送（ポートフォワーディング機能）を搭載しており、本製品に接続したパソコンを「バーチャルサーバ」としてインターネット経由で安全に公開できます。PPPoE接続など、IPアドレスが動的に変化する環境でも、ダイナミックDNS（クリアネット）サーバへの接続機能を備えていますので、IPアドレスの変更なく運用が可能です。

●UPnPに対応

UPnP（Universal Plug and Play）に対応しています。Windows MessengerなどのUPnP対応ソフトが特別な設定をせずに利用可能なほか、UPnP対応ネットワーク機器との組み合わせで本製品を自動的に認識、設定できます。ネットワークゲームを安心して利用できるDMZ機能も備えています。

●その他多彩なルータ機能を装備

- 「DHCPサーバ機能」を搭載し、パソコン側のIPアドレス設定などが不要
- 簡易サーバの設置に便利な「DMZ」「DDNS」を搭載。DDNSは、ロジテックの無料DDNSサーバClear-Netを利用可能
- ファームウェアを簡単にバージョンアップ可能
- 設定内容およびアクセスログの保存が可能

●EU RoHS指令に準拠

EUの「RoHS指令（電器・電子機器に対する特定有害物質の使用制限）」に準拠した環境にやさしい製品となっています。

本製品の動作環境

弊社では以下の環境のみサポートしています。

対応機種およびOS	Windows 7/Vista/XP/2000を搭載するWindowsマシン Mac OS X（10.7/10.6/10.5/10.4）をインストールしたIntel製CPUを搭載したMac
対応ブラウザ （Web設定ユーティリティ）	Internet Explorer 5.5以降

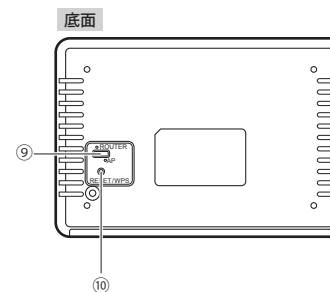
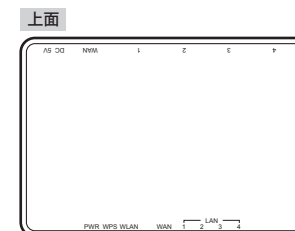
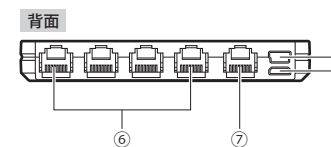
4 各部の名称とはたらき

■LAN-W300N/PGRB（ACアダプタモデル）

前面

背面

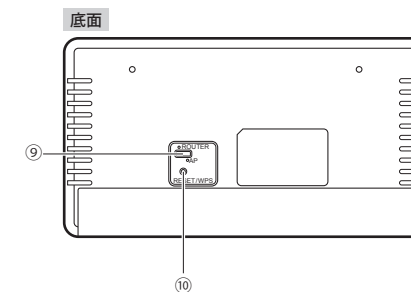
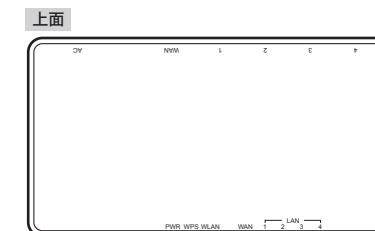
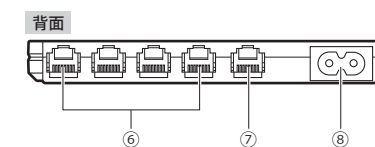
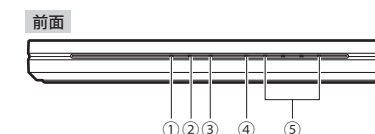
上面

底面

■LAN-W300N/IGRB（電源部内蔵モデル）

前面

背面

上面

底面

①	PWR（パワー）ランプ（緑色）	点灯：本製品の電源が入った状態です。 消灯：本製品の電源が切れた状態です。
②	WPSランプ（赤色）	点滅：RESET/WPSボタンを押してWPS機能を実行している状態です。約2分間、1秒間隔で点滅します。 消灯：WPS機能を実行していない状態です。
③	WLANランプ（青色）	点滅：無線LAN機能を使用中です。
④	WANランプ（青色）	点滅：WAN側とのリンクが確立し、インターネットとの間でデータ転送中です。 消灯：未接続の状態です。
⑤	LANランプ1～4（青色）	点滅：パソコンやネットワーク機器とのリンクが確立し、データ転送中です。 消灯：未接続の状態です。
⑥	LANポート1～4	パソコンやネットワーク機器を、有線LANで本製品に接続するためのポートです。
⑦	WANポート	ブロードバンドモデムなどWAN側機器からのケーブルを接続します。
⑧	LAN-W300N/PGRB 電源ジャック（DC IN）miniUSB/microUSB	本製品に付属のACアダプタを接続します。また、5V、1Aを供給できるminiUSBまたはmicroUSB端子を持つスレート端末などの機器に付属しているACアダプタを接続することで、給電することもできます。 ※5V、1Aを供給できないバスパワー給電では動作しません。
	LAN-W300N/IGRB 電源ジャック（AC100-240V）	本製品に付属の電源ケーブルを接続します。 本製品に付属以外の電源ケーブルを接続しないようにしてください。
⑨	モード切替スイッチ	ルータ（ROUTER）、アクセスポイント（AP）のモードを切り替えます。切り替え操作は、電源がオフの状態でおこなってください。 初期値はルータモードです。
⑩	RESET（リセット）/WPSボタン	2秒間押すとWPSランプが点滅し、WPS機能が実行されます。 10秒間以上押して離すと、WPSランプが点灯し、設定値の初期化を開始します。WPSランプが消灯したら初期化は完了です。（工場出荷時の状態に戻ります） WPSランプが点灯している間は、電源を切らないでください。 ※誤操作防止のため押しにくくなっています。ペン先など先端の細いものを利用して、押してください。

※ランプの状態は、いずれも通常モードでの状態を表します。

5 設定ユーティリティについて

本製品の各種設定をするために、Webブラウザから利用できる設定ユーティリティがあります。ここでは設定ユーティリティのメニュー項目の構成について説明します。各メニュー項目の詳しい内容や設定方法については、該当ページをお読みください。

●設定ユーティリティを使用するには

設定ユーティリティをパソコンのWebブラウザで表示するには、本製品とパソコンを有線LANで接続する必要があります。

●設定ユーティリティの表示方法

P40「設定ユーティリティ画面を表示する」をお読みください。

メニュー項目	内容
インターネット接続ウィザード	インターネット回線種別を選択するだけで、簡単にインターネットへの接続設定を完了できるウィザードです。（→P42）
無線設定	無線LANに関する、さまざまな設定をするメニューです。基本設定（→P43）、上級者向け設定（→P46）、セキュリティ設定（→P50）、アクセスコントロール（→P47）、WPS設定（→P49）があります。
有線設定	有線LAN、WANの設定をします。LAN側設定（→P58）、WAN側設定（→P61）があります。
ファイアウォール設定	本製品にファイアウォール機能を設定できます。ポート転送（→P66）、IPv6ブリッジ（→P68）、DMZ（→P69）があります。
管理ツール	本製品を管理するためのメニューです。機器のステータス（→P70）、DDNS（→P72）、ファームウェア更新（→P74）、パスワード設定（→P75）があります。

6 セットアップを始める前に

本製品のセットアップ作業を始める前に、以下について確認します。

接続事業者との契約状況を確認する

次の内容を確認してください。

①回線事業者/プロバイダと契約は完了していますか?
回線事業者やプロバイダとの契約を完了しておく必要があります。また、フレッツサービスの場合はNTTとのご契約とは別にプロバイダとの契約が必要です。

②モデムなどの機器は準備できていますか?
本製品でインターネットを楽しむためには、ADSL/CATV/光ファイバーなどのブロードバンドモデムと本製品を接続する必要があります。モデムを別途購入されるように契約している場合は、対応モデムをご用意いただく必要があります。

③回線工事は完了していますか?
回線事業者/プロバイダとの契約に加え、屋内までの配線工事とモデムの準備が完了している必要があります。すでに開通日を過ぎていることを確認してください。

④パソコン側の必要な機器は準備できていますか?
本製品の設定および本製品と接続するネットワーク機器には、LANアダプタ(イーサネットポート)が搭載されている必要があります。パソコン本体などに内蔵されていない場合は、別途LANアダプタを準備してください。また、無線で接続する場合は、IEEE802.11n/11g/11bいずれかの無線LAN機能が搭載されている必要があります。パソコン本体などに無線LAN機能が内蔵されていない場合は、別途無線子機を準備してください。各機器のセットアップ方法については、それぞれのマニュアルをお読みください。

ブロードバンドモデムのタイプについて

本製品は、ルータ機能に無線LAN機能を搭載した無線LANルータです。現在、プロバイダから提供されるブロードバンドモデムには、すでにルータ機能が内蔵されている製品があります。
ルータ機能内蔵のブロードバンドモデムに本製品を接続する場合でも、本製品のウィザード機能を使用することで、適切な状態でインターネットに接続できます。
ただし、ブロードバンドモデム内蔵のルータ機能を使用したい場合や、本製品をAPモードで使用したほうが、より良い性能を発揮できる場合があります。このような場合は、本製品背面にある「モード切替スイッチ(→P14)」を「APモード」側にして使用してください。

設定に必要なプロバイダ情報を用意する

本製品のウィザード機能は、ご使用になるインターネット回線の種別を自動的に判別しますので、一般的なインターネットサービスをご使用の場合は、あらかじめ回線の種別などを調べておく必要はありません。
ただし、NTTフレッツサービスなどPPPoE接続を使用している場合は、プロバイダから提供されるユーザーIDとパスワードが必要になることがあります。また、固定IPサービスなど特別なインターネットサービスをご利用の場合は、あらかじめ必要な情報をご用意ください。

●APモードでご使用の場合
ブロードバンドモデムに搭載されたルータ機能を使用しているため、本製品をAP(アクセスポイント)モードで利用する場合は、Chapter2「4.無線LANで接続する」(→P31)をお読みください。

●プロバイダの情報について
ご契約のプロバイダによっては、ここに説明した内容と異なる場合もあります。プロバイダ側の設定資料を参考に、本製品のインターネット接続の設定をしてください。

A PPPoE接続方式の場合

NTTフレッツサービスなど「PPPoE接続」でインターネットに接続するプロバイダの場合は、ユーザーIDとパスワードが記載された資料がお手元に届いているはずです。記入欄にメモしてください。

項目	記入欄
接続方式	PPPoE
認証ID（ユーザ名）【接続ID】	
認証パスワード【接続パスワード】	

※プロバイダによって認証ID、認証パスワードの表記が異なることがあります。ユーザーIDに「@」が入っている場合は、プロバイダから提供された「ユーザー名」の後ろに、「@」と「プロバイダ識別子」を入力する必要があります。また、PPPoE接続でも、認証ID、認証パスワードが記述されておらず、入力が不要な場合があります。

フレッツ光プレミアムなど、別途ルータ機能が用意されている場合

プロバイダから提供されている「CTU」などの機器に、ユーザーID、パスワードを設定しますので、本製品側での設定は不要です。

B DHCP接続方式の場合

DHCP接続を使用している場合は、自動的にインターネットへの接続を開始します。本製品のウィザードを使用すれば、インターネット回線種別を意識したり、設定作業をおこなうことなく自動的に接続します。

C プロバイダから固定IPアドレスが提供されている固定IP方式の場合

インターネット側のIPアドレス（グローバルIPアドレス）が固定で割り当てられるサービスです。次の内容をお調べのうえ、記入欄にメモしてください。

項目		記入欄
WAN側IPアドレス※1		
WAN側サブネットマスク		
WAN側ゲートウェイ		
DNSサーバアドレス※2	プライマリDNS	
	セカンダリDNS	

※1 グローバルIPアドレスです。　※2 指示がある場合にメモしてください。

Chapter 2

導入編

本製品の導入方法について

本製品をモデムなどとつなぐ手順や、インターネットに接続する手順については、本製品に添付の別紙「セットアップガイド」などに、わかりやすい説明があります。

「セットアップガイド」の説明書が見つからない場合は、ロジテック ホームページからもダウンロードできます。

1 セットアップの流れ

有線 LAN で接続するパソコンと無線 LAN で接続するパソコンで使う

無線 LAN で接続するパソコンで使う

プロバイダ情報の準備

NTT フレッツサービスなど PPPoE 接続を利用しているプロバイダや固定 IP 接続をご使用になる場合は、プロバイダからのユーザー ID 等の情報が必要になります。あらかじめ送付された情報を準備しておきます。※1

本製品の接続

本製品をブロードバンドモデム、パソコンなどと接続します。

◆無線 LAN で接続するパソコンしか使用しない場合でも、インターネットの接続設定のために有線 LAN でパソコンを接続する必要があります※2。

本製品を「AP（アクセスポイント）モード（→P17）」で使用するように設定している場合のみこちらへ

インターネット接続ためのウィザードの実行

本製品の「かんたんセットアップツール」を使ってインターネットへ接続できるように設定し、接続を確認します。必要な作業を「かんたんセットアップツール」が自動的に実行します。

PPPoE 接続（NTT フレッツサービスなど）や固定 IP 接続の場合は、プロバイダからの情報の入力が必要です。※1

無線 LAN アダプタのドライバ等のインストール

ご使用になる無線アダプタのドライバや設定ユーティリティを、パソコンにインストールしておきます。※3

無線 LAN 接続の設定

WPS 機能に対応する場合	WPS 機能に対応しない場合
WPS 機能を使って設定します。設定ボタンを押すだけです。※3	無線アダプタ側に、SSID やセキュリティなどを手動で設定します。※3

無線 LAN でのインターネット接続の確認

無線 LAN で接続するパソコンからホームページなどに接続できることを確認します。

これで設定は完了です。

有線 LAN で接続するパソコンだけで使う

プロバイダ情報の準備

NTT フレッツサービスなど PPPoE 接続を利用しているプロバイダや固定 IP 接続をご使用になる場合は、プロバイダからのユーザー ID 等の情報が必要になります。あらかじめ送付された情報を準備しておきます。※1

本製品の接続

本製品をブロードバンドモデム、パソコンなどと接続します。

インターネット接続ためのウィザードの実行

本製品の「かんたんセットアップツール」を使ってインターネットへ接続できるように設定し、接続を確認します。必要な作業を「かんたんセットアップツール」が自動的に実行します。

PPPoE 接続（NTT フレッツサービスなど）や固定 IP 接続の場合は、プロバイダからの情報の入力が必要です。※1

これで設定は完了です。

※1　プロバイダから提供されている「CTU」などの機器に、ユーザーID、パスワードを設定しますので、本製品側での設定は不要です。

※2　無線LANだけでご使用になる場合も、本製品の設定ユーティリティに接続するために有線LANのパソコンをご用意ください。

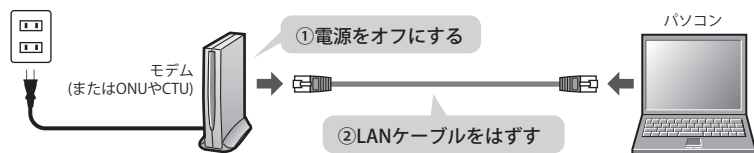
※3　無線子機側の設定については、無線子機の説明書をお読みください。

2 本製品を接続する

本製品をブロードバンドモデムなどと接続します。

本製品を接続する

注意 通電時間が長くなると本体表面が高温(約50℃)になります。
本製品の動作に影響はありませんが、常時接している部分が熱の影響を受ける可能性があります。添付のスタンドをご利用いただくか、風通しのよい場所へ設置し、本製品を覆わないようにご注意ください。

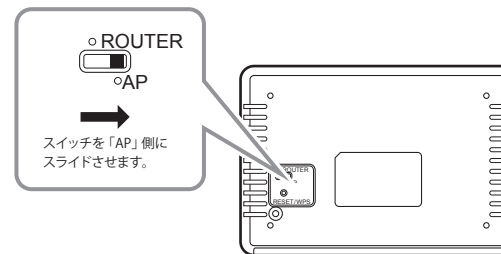
1 すでにインターネットをご利用の場合は、以下の作業をします。

❶ すでにご使用のモデム、ONU(回線終端装置)、CTU(加入者網終端装置)のいずれかがある場合、パソコンと接続したLANケーブルをはずします。

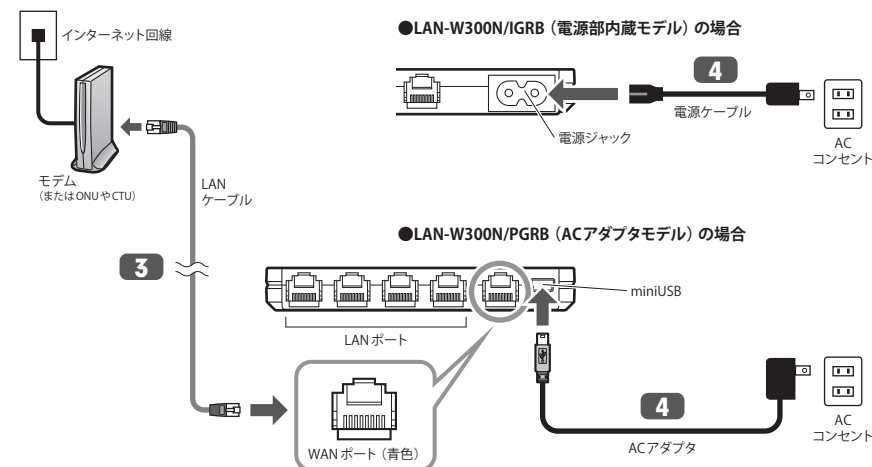
❷ モデム(またはONUやCTU)の電源を切り、LANケーブルを抜いた状態で、1時間以上そのまま置いておきます。
・モデム等に電源スイッチがない場合は、ACプラグを抜きます。

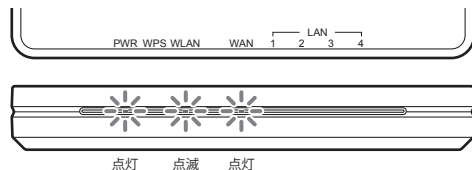
注意 モデムの電源をいったん切らないと、現在記憶されている接続情報がそのまま残り、本製品を接続したあとの新しい接続情報に更新されず、インターネットへの接続に失敗する恐れがあります。

2 本製品を「AP(アクセスポイント)モード」で使用する場合は、「モード切り替えスイッチ」を「AP」側に変更します。
「かんたんセットアップツール」を使用する場合は、ご使用の環境に設定を自動的に合わせますので、「ROUTER(初期値)」側になっていることをご確認ください。

APモードを使用する
ブロードバンドモデム内蔵のルータ機能を使用したい場合や、本製品をAPモードで使用したほうが、より良い性能を発揮できる場合があります。このような場合は、以下の手順で「APモード」に変更してください。

❶ 本製品から電源ケーブルをはずして、電源を切ります。
❷ ペン先など先端の細いものを利用して、スイッチを「AP」側にスライドさせます。
❸ 本製品に電源ケーブルを接続して、電源を入れます。

3 モデム(またはONUやCTU)のLANポートと本製品のWANポートを、付属のLANケーブルでつなぎます。

4 付属の電源ケーブルを本製品と接続し、プラグをACコンセントに接続します。

5 壁などにあるインターネット回線に近い機器から、順番に電源を入れます。

6 モデム（またはONUやCTU）と、本製品の電源がオンになっていることを確認します。

- 本製品の場合、PWRランプ/WLANランプ/WANランプが、それぞれ青色に点灯または点滅します。

※手順 5 のあと、ランプが点灯/点滅状態になるまで約30秒かかります。

7 パソコンと本製品のLANポート（4ポートのいずれか）をLANケーブルで接続します。

8 次ページ「3.ウィザードを使ったセットアップ」へ進みます。

AP（アクセスポイント）モードに切り替えている場合

インターネット接続に関する設定は、ブロードバンドモデムのルータ機能で設定します。ブロードバンドモデムに付属の説明書をお読みになり、ブロードバンドモデム側の設定を済ませてから、P31「4.無線LANで接続する」へ進みます。

3 ウィザードを使ったセットアップ

セットアップツールについて

本製品は、付属のCD-ROMの「かんたんセットアップツール」を使うことで、無線子機（無線アダプタ）のドライバのインストールや本製品との暗号化設定、およびインターネットへの接続設定が可能です。
また、本製品にパソコンからWebブラウザでアクセスすることで、Webブラウザ版の設定ユーティリティにある「インターネット接続ウィザード」を使って、インターネットへの接続設定を自動でおこなうことができます。無線子機（無線アダプタ）との設定は、WPS機能を使って自動接続ができます。

ここでは次ページより、「インターネット接続ウィザード」を使って、インターネットへ接続する方法を説明しています。無線子機からの無線接続については、P31「4.無線LANで接続する」で説明しています。

CD-ROM版「かんたんセットアップツール」をお使いになる場合

「かんたんセットアップツール」を使ってセットアップする場合は、本製品に添付された別紙「セットアップガイド」をお読みください。

Windows版：かんたんセットアップツール

設定ユーティリティを表示する

本製品の設定ユーティリティは、パソコンからWebブラウザを使って表示します。

パソコンはIPアドレスが自動取得になっている必要があります
このマニュアルでは、本製品のDHCPサーバ機能により、パソコンがIPアドレスを自動取得することを前提に説明しています。パソコンに固定のIPアドレスを設定している場合は、パソコンのIPアドレスを変更しなければならないことがあります。

本製品のIPアドレス（初期値）＝192.168.2.1

1 **ブロードバンドモデムと本製品の電源が入っていることを確認してから、設定用のパソコンを起動します。**

- 順序が逆の場合、パソコン側がIPアドレスを正常に取得できず、設定画面にアクセスできないことがあります。

2 **Internet ExplorerなどのWebブラウザを起動します。**

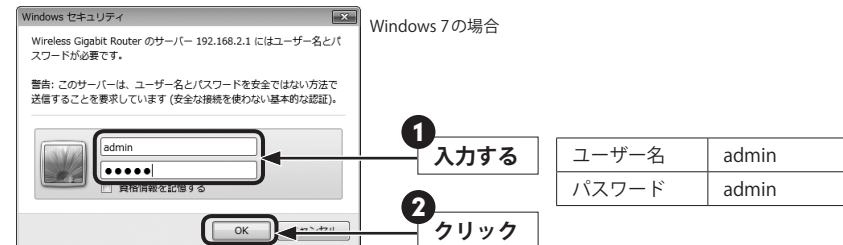
3 **Webブラウザの［アドレス］欄に、キーボードから「http://192.168.2.1」と入力し、キーボードの［Enter］キーを押します。**

- 認証画面が表示されます。

認証画面が表示されない場合
以下の順序で確認してみてください。
①本製品の電源が入っているか、LANケーブルの接続は正しいかを確認してください。
②いったんパソコンを終了し、本製品の電源を入れて3分以上たってからパソコンの電源を入れてください。
③接続しているパソコンのIPアドレスを確認してください（→P83「3.パソコンのIPアドレスの確認方法」）。

4 **本製品のユーザー名とパスワードを入力し、 OK をクリックします。**

Windows 7の場合

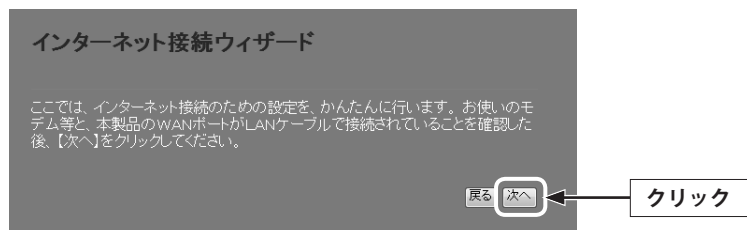
ユーザー名	admin
パスワード	admin

- 初期値は表のとおりです。半角英数字の小文字で入力します。
- 本製品の設定ユーティリティが表示されます。
- 次ページの「インターネット接続ウィザードでセットアップする」へ進みます。

不特定多数の人が利用するような環境では、第三者に設定を変更されないように、パスワードの変更をお勧めします（→P75「パスワード設定 画面」）。

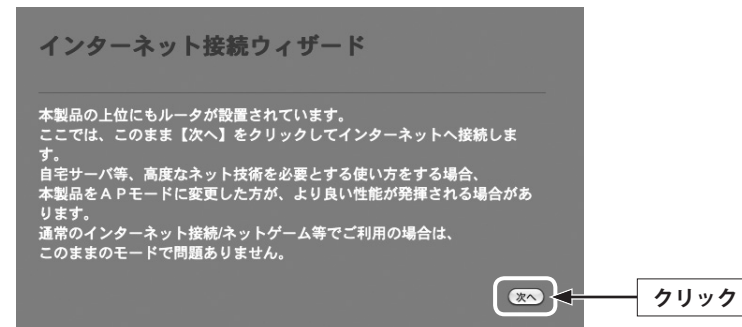
インターネット接続ウィザードでセットアップする

「インターネット接続ウィザード」を使って、セットアップする手順を説明します。

1 **インターネット接続ウィザードのトップ画面で、 次へ をクリックします。**

2 **次へ をクリックします。**

- 「インターネット回線種別を自動識別中です。」と表示されます。

3 **インターネット回線の種類にあわせて画面が表示されます。**

■「本製品の上位にもルータが設置されています。」と表示された場合

- 通常は、そのまま 次へ をクリックします
- 本製品（無線ルータ）をAPモードに変更したい場合は、P17「ブロードバンドモデムのタイプについて」をお読みになったうえで、「モード切り替えスイッチ」を「AP」側に変更します。

■ユーザーIDとパスワードを入力する画面が表示された場合

- プロバイダより提供された情報にある「ユーザーID」と「パスワード」を入力します。
- 次へ をクリックします。

※ご利用の環境によって、設定画面の内容は多少異なる場合があります。

■固定IPアドレスの情報を入力する画面が表示された場合

- プロバイダより提供された情報を入力します。
- ［次へ］をクリックします。

4 **インターネットに正常に接続できると、接続が確認できたことを知らせるメッセージが表示されます。**

> **インターネット接続が確認できました！**
> **インターネット接続設定を終了します。**
> **右上の × をクリックし、本画面を閉じてください。**

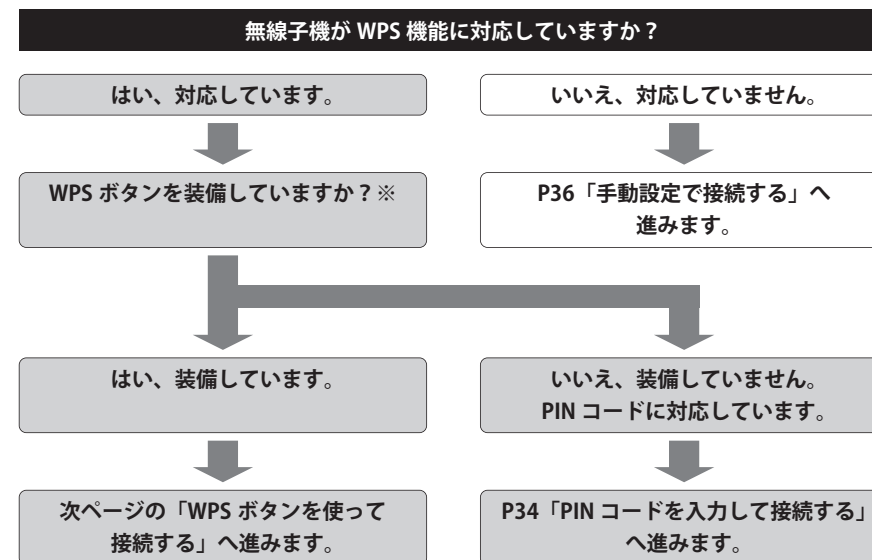
5 **これでインターネットへの接続作業は完了です。引き続き、パソコンと本製品を無線LANで接続する場合は、P31「4.無線LANで接続する」へ進みます。**

- 本製品の設定のために有線LANで接続していたパソコンを、無線LANで接続するようにする場合は、LANケーブルを取り外し、パソコンの無線LAN機能が使用できるように準備しておいてください。

4 無線LANで接続する

パソコンの無線子機（無線アダプタなど）から本製品を経由してインターネットに接続できるようにします。

はじめにご確認ください

本製品はWPS機能に対応しています。WPS機能に対応する無線子機との組み合わせで簡単に無線LAN機能を設定できます。ボタンを押すだけで設定ができる「プッシュボタン方式」と、用意された数字を入力するだけで設定できる「PINコード方式」の両方に対応しています。WPS機能に対応していない無線子機から本製品に接続するときは、本製品の設定値を無線子機側に設定することで接続することができます。

※WPSボタンについて

WPSの「プッシュボタン方式」は、無線子機本体に装備されている「WPSボタン」を押して設定するタイプと、設定ユーティリティ上にある「WPSボタン」アイコンをクリックして設定するタイプがあります。

WPSボタンを使って接続する

1 **無線で接続するパソコンを、本製品と確実に通信できる場所に用意します。**

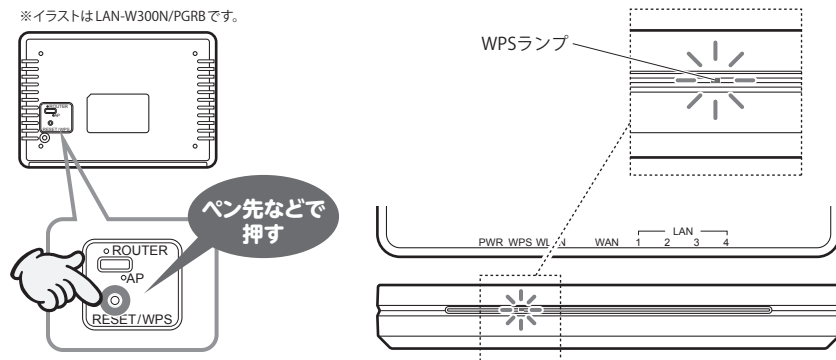
2 **無線子機の説明書をお読みになり、無線子機側が「WPS」設定をできるように準備します。**

弊社製無線子機の画面例

3 **本製品の側面にある「RESET/WPSボタン」を2秒以上押して、離します。**

注 意

10秒以上押すと、設定がリセットされてしまいますのでご注意ください。

※イラストはLAN-W300N/PGRBです。

- 前面にあるWPSランプが赤色に点滅し、WPS対応の無線子機の接続を待つ状態になります。WPSランプの点滅中に接続を完了する必要があります。

- 接続が完了するか、一定時間(約2分間)がすぎるとWPSランプは消灯します。
- 誤操作防止のため押しにくくなっています。ペン先など先端の細いものを利用して、押してください。

4 **無線子機側のWPS用の「設定ボタン」を指定された時間だけ押します。**

- 弊社製のWPS対応製品の場合は、本体の「設定ボタン」を1秒以上押して、離します。本体に設定ボタンがないモデルでは、ユーティリティの[WPS]ボタンをクリックします。

5 **無線子機側の設定ユーティリティで、本製品に接続できたことを確認します。**

弊社製無線アダプタの画面例

- 本製品のWPSランプは消灯します。

6 **Webブラウザからお好みのホームページに接続し、正常に表示されることを確認します。**

ロジテックWebサイト　http://www.logitec.co.jp/

7 **これでWPS機能を使った無線子機の設定は完了です。無線子機が他にもある場合は、同じ手順で設定します。**

PINコードを入力して接続する

WPS機能のPINコード方式で設定します。無線ルータ側に設定されたPINコードを無線子機に入力する方法と、無線子機側に設定されたPINコードを無線ルータに入力する方法があります。ここでは無線ルータ側に設定されたPINコードを無線子機に入力する場合の操作の流れを説明します。

無線子機側のPINコードを本製品に入力する場合

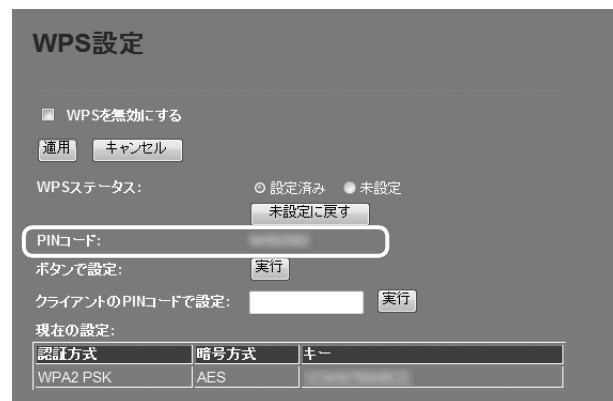
P49「WPS機能の設定」をお読みになり、［クライアントのPINコードで設定］に、無線子機側のPINコードを入力し、実行してください。

1 **無線で接続するパソコンを、本製品と確実に通信できる場所に用意します。**

2 **本製品の設定ユーティリティを表示します。**

- 設定ユーティリティの表示方法については、P26「設定ユーティリティを表示する」を参照してください。

3 **設定ユーティリティで画面左のメニューリストから［無線設定］→［WPS設定］を選択して、〈WPS設定〉画面を表示します。**

4 **「PINコード」をメモします。**

本製品のPINコード

5 **無線子機の説明書をお読みになり、無線子機のPINコードの［設定モード］を「Registrar」に設定してから、本製品のPINコードを無線子機側に入力します（※）。**

弊社製無線子機の画面例

※実際の無線子機によって項目名などが異なります。ご使用になる無線子機の説明書をお読みください。

6 **本製品の設定ユーティリティの〈WPS設定〉画面で、［ボタンで設定］の 実行 をクリックします。**

7 **無線子機側でPINコードの受信を実行します。**

弊社製無線子機の画面例

8 **設定後、無線LAN経由でインターネットにアクセスするなどして、接続できていることを確認してください。**

手動設定で接続する

WPS機能を持たない無線子機の場合は、無線子機側の設定ツールを使って、必要な設定を手動でおこないます。本製品の初期値の設定は以下の通りです。無線子機の説明書と、次ページからの作業の流れを参考にして、本製品の設定値を無線子機側に設定してください。

項目	本製品の設定値（初期値）	
SSID	logitecXX　※Xは、0〜9、A〜Hのランダムな英数字です。	
認証方式	WPAプレシェアードキー	無線子機側は「WPA2-PSK」を選択します。
暗号化方式	AES	無線子機側は「AES」を指定します。
WPAユニキャスト 暗号スイート	WPA2-PSK	
共有キー フォーマット	パスフレーズ	
暗号キー	本製品に付属の無線暗号キーステッカーをご覧ください。使用されている文字は半角英数字の大文字です。 ※出荷時期によっては、実際の無線暗号キーステッカーがイラストと異なる場合があります。 KEY記入欄	●無線暗号キーステッカー 初期SSID　Logitec 初期暗号キー（Key：0〜9、A〜H(大文字)で構成されています。） 1st SSID : logitecXX 2nd SSID : logitec2ndXX Key : XXXXXXXXXXXXX MACアドレス: xxxxxxxxxxxx 本製品の設定画面アクセス情報　ユーザ名初期値 admin　パスワード初期値 admin　IPアドレス(ルータ/APモード) 192.168.2.1 暗号キー （Xには、0〜9、A〜Hのランダムな英数字13文字が入ります）

上記の本製品の初期値にあわせ、暗号キーステッカー上の暗号キーを利用する場合は、本製品の設定ユーティリティを表示せずに、無線子機側の設定をおこなうだけで本製品に接続することができます。

1 **無線で接続するパソコンを、本製品と確実に通信できる場所に用意します。**

2 **無線子機の設定ユーティリティを起動します。**

3 **設定ユーティリティのリストのSSIDに「logitecXX」と表示された場合は選択します。**

- Xは、0〜9、A〜Hのランダムな英数字です。
- SSIDを自動的に検出できない場合は、手動で無線子機の設定ユーティリティにある「SSID」に、本製品のSSIDの設定値（例：logitec42）を半角英数字（小文字）で入力します。

4 **本製品はセキュリティ機能として暗号化機能（WPA2-PSK/AES/パスフレーズ13文字）があらかじめ設定済みです。無線子機の設定ユーティリティにある[暗号化]に関する設定画面を表示します。**

5 **無線子機の説明書をお読みになり、本製品の設定内容を無線子機側に設定します。**

6 **設定後、無線LAN経由でインターネットにアクセスするなどして、接続できていることを確認してください。**

Chapter 3

詳細設定 編

1 設定ユーティリティ画面について

本製品の各種機能を設定するには、パソコンからWebブラウザを使って、本製品の設定ユーティリティに接続する必要があります。ここでは、簡単に本製品の設定ユーティリティに接続する方法を説明します。

設定ユーティリティ画面を表示する

1 Internet ExplorerなどのWebブラウザを起動します。

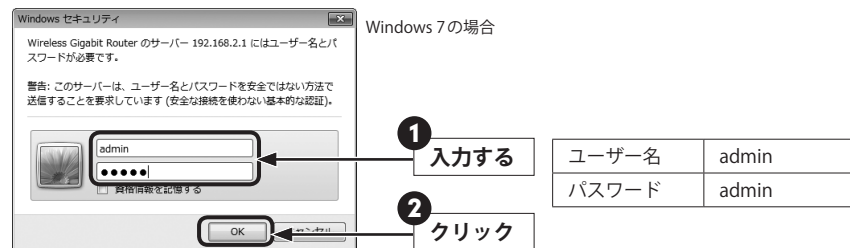
2 Webブラウザの［アドレス］欄に、キーボードから「http://192.168.2.1」と入力し、キーボードの［Enter］キーを押します。

• 認証画面が表示されます。

認証画面が表示されない場合
パソコンよりも本製品が先に起動していないと、IPアドレスが正しく取得できないため接続できないことがあります。認証画面が表示されない場合は、本製品の電源を入れて、約3分程度待ってから、パソコンの電源を入れてください。

3 本製品のユーザー名とパスワードを入力し、OK をクリックします。

Windows 7の場合

ユーザー名	admin
パスワード	admin

• 初期値は表のとおりです。半角英数字の小文字で入力します。
• 本製品の設定ユーティリティが表示されます。
• このあとは、必要に応じて該当の項目をお読みください。

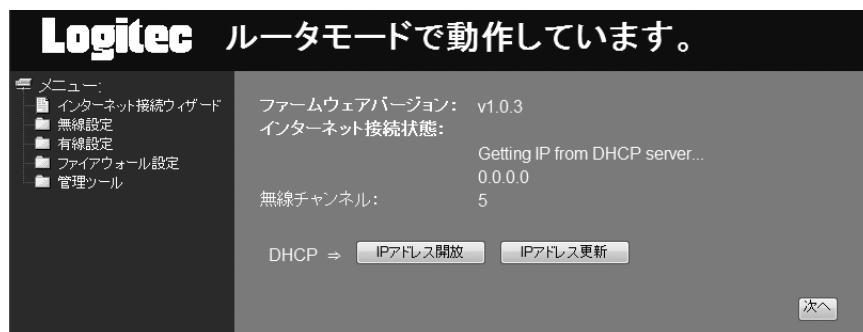
不特定多数の人が利用するような環境では、第三者に設定を変更されないように、パスワードの変更をお勧めします（→P75「パスワード設定 画面」）。

設定ユーティリティ画面の内容

メニュー項目	内容
インターネット接続ウィザード	インターネット回線種別を選択するだけで、簡単にインターネットへの接続設定を完了できるウィザードです。（→P42）
無線設定	無線LANに関する、さまざまな設定をするメニューです。基本設定（→P43）、上級者向け設定（→P46）、セキュリティ設定（→P50）、アクセスコントロール（→P47）、WPS設定（→P49）があります。
有線設定	有線LAN、WANの設定をします。LAN側設定（→P58）、WAN側設定（→P61）があります。
ファイアウォール設定	本製品にファイアウォール機能を設定できます。ポート転送（→P66）、IPv6ブリッジ（→P68）、DMZ（→P69）があります。
管理ツール	本製品を管理するためのメニューです。機器のステータス（→P70）、DDNS（→P72）、ファームウェア更新（→P74）、パスワード設定（→P75）があります。

2 インターネット接続ウィザード

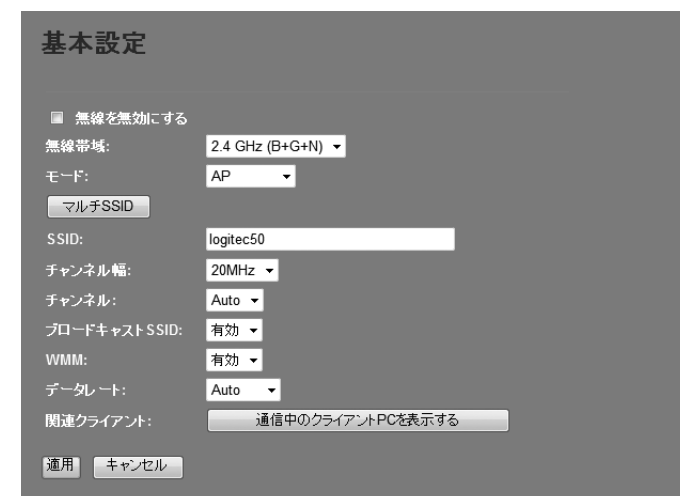
インターネットに接続するための必要な設定をおこなう画面です。インターネット接続ウィザードの使い方は、P28「インターネット接続ウィザードでセットアップする」をお読みください。

画面左のメニューリストから［インターネット接続ウィザード］を選択します。

IPアドレス開放	WAN（インターネット）側の接続を切断し、WAN側のIPアドレスを開放します。インターネットとは接続していない状態になります。
IPアドレス更新	WAN（インターネット）側のIPアドレスを正しく取得できなかった場合などに、現在のWAN側のIP アドレスを開放し、再取得します。

3 無線設定

本製品の無線LAN機能を設定します。

基本設定

画面左のメニューリストから［無線設定］→［基本設定］を選択します。

設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず［適用］をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は［戻る］を、変更した内容をすぐに有効にする場合は［更新］をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

●設定の内容

項目		内容
無線を無効にする		無線LANの設定をすべて無効にする場合にチェックします。チェックすると、無線LAN機能を使用できなくなります。 （初期値：オフ＝無線LANが有効）
無線帯域	2.4 GHz（B＋G＋N）	初期値です。IEEE802.11n/11g/11bの3規格を使用します。
	2.4 GHz（B）	IEEE802.11b規格だけを使用します。
	2.4 GHz（G）	IEEE802.11g規格だけを使用します。
	2.4 GHz（N）	IEEE802.11n規格だけを使用します。
	2.4 GHz（B＋G）	IEEE802.11g/11bの2規格を使用します。
	2.4 GHz（G＋N）	IEEE802.11g/11nの2規格を使用します。
モード		選択できるのは、本製品で使用可能な「APモード」のみです。
マルチSSID		本製品は､2つのSSIDを同時に使用することができます。SSIDごとにセキュリティレベルを変更することもできます。「logitec2ndXX」が初期値として登録されています。設定方法は、P45「マルチSSIDを設定する」をお読みください。
SSID		無線LANで使用するSSIDを入力します。初期値は「logitecXX」が登録されています。
チャンネル幅		11n規格でのチャンネル幅を設定します。11n対応の無線クライアントと接続する場合、「40MHz」に設定することで伝送速度を速くすることができます。ただし、他の無線LANとの干渉などによっては、伝送速度が変わらない場合もあります。
チャンネル		使用するチャンネルを選択します。Autoまたは1〜13chの中から選択します。チャンネルの異なる複数の無線機器を使用する場合は5チャンネル以上離してください。Autoを選択すると、自動でチャンネルが設定されます。（例）1ch/6ch/11ch
ブロードキャストSSID		「有効」の場合は、無線子機側の設定ユーティリティなどから本製品に設定したSSIDを確認することができます。「無効」にした場合は、無線子機側の設定ユーティリティなどで、本製品のSSIDを表示できなくなります。 不正アクセスを防ぐためや、SSIDを第三者に見せたくない場合などに「無効」にします。（初期値：有効）
WMM		WMM（Wi-Fi Multimedia）により安定したストリーミング通信をするための帯域を優先的に確保するかを設定します。（初期値：有効）
データレート		11n/11g/11b規格の通信における伝送速度を設定します。「Auto」に設定しておくと、通信環境にあわせて自動的に最適な速度で通信します。（初期値：Auto）
関連クライアント		通信中のクライアントPCを表示する をクリックすると、無線クライアント（無線子機）のリストが別ウィンドウで表示されます。

●マルチSSIDのlogitecXXとlogitec2ndXX

WPS機能を使ったパソコン用のセキュリティ設定を「WPA2-PSK」、ゲーム機用のセキュリティには「WEP」が利用できるように2つのSSIDが用意されています。これにより、パソコンとゲーム機で異なるセキュリティ設定でも同時に接続できるようになっています。

SSID	説明
logitecXX※1	パソコンやスマートフォン用のSSIDです。セキュリティ設定の初期値は、WPA2-PSK/AES/暗号キー13文字になっています（→P36「手動設定で接続する」参照）。
logitec2ndXX※1、※2	ゲーム機と接続するためのSSIDです。セキュリティ設定が初期値で「WEP」になっています。パソコンの無線子機を本製品にWPS機能を使って接続しても「WEP」のままです。

※1：Xは、0〜9、A〜Hのランダムな英数字です。
※2：このSSIDに対してWPS機能は使えません。

●〈通信中の無線クライアント一覧〉画面について

更新 をクリックするとリストを最新の状態に更新します。閉じる をクリックすると､〈通信中の無線クライアント一覧〉画面を閉じます。

マルチSSIDを設定する

❶ マルチSSID をクリックします。
❷「有効」をチェックします。
❸ SSIDに2つめのSSIDを入力します。初期値では「logitec2ndXX」が登録されています。
❹ 必要に応じて、高度な設定をします（上記の一覧表参照）。
❺ 適用 をクリックします。このあとの操作はP43「設定を変更した場合」をお読みください。

通信中のクライアント

表示 をクリックすると、ここで設定したSSIDで接続している無線クライアント（無線子機）をリストで表示します。

上級者向け設定 画面

無線LANの高度なオプション機能を設定できます。これらの設定には無線LANに関する十分な知識が必要です。

画面左のメニューリストから［無線設定］→［上級者向け設定］を選択します。

設定を変更した場合
設定を変更した場合は、必ず 適用 をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は 戻る を、変更した内容をすぐに有効にする場合は 更新 をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

●詳細設定　各項目の数値に指定可能な範囲がある場合は、数値の右側にカッコで表示しています。

項目	説明
フラグメントしきい値	フラグメントしきい値を設定します。パケットが設定サイズを超えた場合に分割して送信します。（初期値：2346）
RTSしきい値	本製品がRTS（送信要求）信号を送信するパケットサイズを設定します。（初期値：2347）
ビーコン間隔	本製品が送信するビーコンフレームの送信間隔を設定します。（初期値：100）
プリアンブルタイプ	無線通信の同期をとるプリアンブル信号の種類（長さ）を選択します。ショートプリアンブルのほうが伝送速度を速くすることができます。ただし、古いタイプの無線クライアントを使用する場合などは、互換性を確保するために「ロングプリアンブル」を選択します。（初期値：ロングプリアンブル）
送信パワー	電波の出力強度を調整できます。電波が遠くまで飛びすぎる場合に、環境にあわせて強度を設定します。（初期値：100%）

アクセスコントロール 画面

登録したMACアドレスを持つ無線子機とだけ無線LANで通信できるようにしたり、通信を拒否したりできます。第三者の無線子機からの不正アクセスを防止するのに役立ちます。

左のメニューリストから［無線設定］→［アクセスコントロール］を選択します。

設定を変更した場合
設定を変更した場合は、必ず 適用 をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は 戻る を、変更した内容をすぐに有効にする場合は 更新 をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

●入力・設定画面の内容

項目	説明
無線アクセスコントロール機能	「無効」･･･アクセスコントロール機能を使用しません。 「許可」･･･［無線アクセスコントロールリスト］に登録したMACアドレスを持つ無線子機だけが無線LANで接続できます。 「拒否」･･･［無線アクセスコントロールリスト］に登録したMACアドレスを持つ無線子機との無線LAN接続を拒否します。
MACアドレス	本製品への無線LAN接続を許可または拒否する無線子機のMACアドレスを入力します。
メモ	自由にコメントを入力できます。登録した無線子機を区別するのに便利です。

●無線アクセスコントロールリスト
入力画面で設定した内容をリストとして表示します。［選択］は、登録した無線子機の情報を削除する場合にチェックします。

●各ボタンの機能

選択したものを削除	［選択］をチェックした無線子機をリストから消去します。このボタンをクリックすると確認の画面が表示されますので、OK をクリックしたあと、更新 をクリックします。
全て削除	リストの無線子機の設定をすべて消去します。このボタンをクリックすると確認の画面が表示されますので、OK をクリックしたあと、更新 をクリックします。
キャンセル	［選択］のチェックをすべてクリアします。

無線子機の登録方法

❶［無線アクセスコントロール機能］で［許可］または［拒否］を選択します。
❷ 無線子機のMACアドレスを入力します。「:」で区切る必要はありません。
例 1234567890gh
❸ 無線子機を区別するための名称など、コメントを自由に入力することができます。
❹ 適用 をクリックします。このあとの操作はP47「設定を変更した場合」をお読みください。
❺ 登録する無線子機が複数ある場合は、❶〜❹を繰り返します。

WPS機能の設定

WPS（Wi-Fi Protected Setup）機能の設定をします。

画面左のメニューリストから［無線設定］→［WPS設定］を選択します。

設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず 適用 をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は 戻る を、変更した内容をすぐに有効にする場合は 更新 をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

●WPS設定

WPSを無効にする	WPS機能を無効にする場合にチェックします。（初期値：オフ）
WPSステータス	現在のWPS 設定の状態を表示します。
未設定に戻す	WPS設定を初期値に戻します。
PINコード	本製品のPINコードを表示します。
ボタンで設定	実行 をクリックすることで、WPS機能を実行できます。本製品の本体に装備された「WPS設定ボタン」を押すのと同じことです。
クライアントのPINコードで設定	本製品側で無線子機のPINコードにあわせる場合に、ここに無線子機側のPIN コードを入力し、実行 をクリックします。
現在の設定	現在のセキュリティ設定の状態を表示します。

4 セキュリティを設定する（無線の暗号化）

無線LANで使用するデータの暗号化などのセキュリティの設定方法について説明します。

●本製品で設定可能なセキュリティ機能

WEP	無線LANの普及期からある暗号化方式です。本製品は64bitと128bitの2種類の暗号強度が選択できます。ご利用の無線LAN環境でWPA-PSKまたはWPA2-PSKが使用可能な場合は、そちらを使用することをお勧めします。
WPA-PSK WPA2-PSK	新しいセキュリティである「WPA」を使用します。本製品では、WPA-PSK（TKIP）とWPA2-PSK（AES）が使用できます。
WPA2-Mixed	WPA-PKS（TKIP）とWPA2-PSK（AES）の混在環境に対応します。

●本製品のセキュリティ設定の初期値

項目	本製品の設定値（初期値）	
SSID	logitecXX　※Xは、0〜9、A〜Hのランダムな英数字です。	
認証方式	WPAプレシェアードキー	無線子機側は「WPA2-PSK」を選択します。
暗号化方式	AES	無線子機側は「AES」を指定します。
WPAユニキャスト暗号スイート	WPA2-PSK	
共有キーフォーマット	パスフレーズ	
暗号キー	本製品に付属の無線暗号キーステッカーをご覧ください。使用されている文字は半角英数字の大文字です。 ※出荷時期によっては、実際の無線暗号キーステッカーがイラストと異なる場合があります。 KEY記入欄	●無線暗号キーステッカー 初期SSID　Logitec 初期暗号キー 1st SSID : logitecXX 2nd SSID : logitec2ndXX Key : XXXXXXXXXXXXX MACアドレス : xxxxxxxxxxxx 暗号キー （Xには、0〜9、A〜Hのランダムな英数字13文字が入ります）

WEPの設定

無線通信の暗号化セキュリティに「WEP」を使用します。

画面左のメニューリストから［無線設定］→［セキュリティ設定］を選択します。

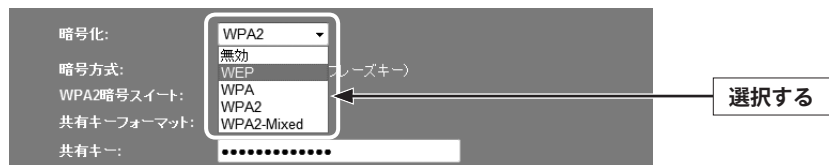
◆WEP選択時の設定画面

ここをチェックすることで、現在のパスワードを表示できます。

設定の手順

本製品および本製品に接続する、すべての無線子機は、各項目の設定値がすべて同一になっている必要があります。設定が一部でも異なっていると無線LANを利用できません。

1 ［SSID選択］で、セキュリティ設定をする「SSID」を選択します。

2 ［暗号化］で、［WEP］を選択します。

3 認証方式を選択します。

• わからない場合は「Auto」を選択します。

4 ［キー長］でセキュリティ強度を選択します。通常は128bitを選択します。

ご使用になる無線子機が64bitにしか対応していない場合などは、64bitを選択します。ご使用になる無線子機に1台でも64bitにしか対応していないものがある場合は、64bitしか使用できません。なお、64bitはセキュリティ性が低くお勧めできませんので、なるべく使用しないでください。

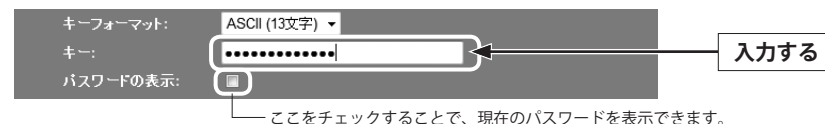
5 ［キーフォーマット］で暗号化キーの入力形式を選択します。

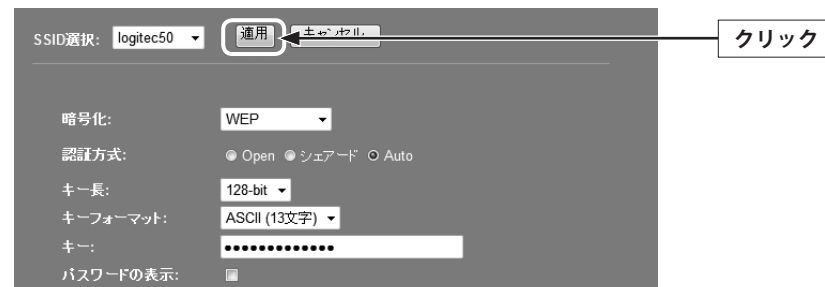
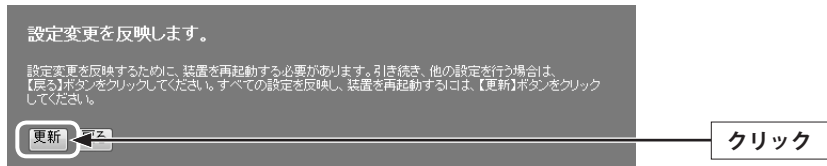
• ここで選択した形式の文字列で暗号化キーを設定します。

形式	説明
ASCII（5文字）	キー長で64bitを選択した場合です。［暗号化キー］に、半角英数字5文字を入力します。
ASCII（13文字）	キー長で128bitを選択した場合です。［暗号化キー］に、半角英数字13文字を入力します。
Hex（10文字）	キー長で64bitを選択した場合です。［暗号化キー］に、16進数10文字を入力します。
Hex（26文字）	キー長で128bitを選択した場合です。［暗号化キー］に、16進数26文字を入力します。

※16進数とは、0〜9、a-fを組み合わせた文字列です。

6 手順 **5** で選んだ入力形式で、暗号化キーを入力します。

ここをチェックすることで、現在のパスワードを表示できます。

• ASCIIの場合は大文字と小文字が区別されます。Hexの場合は大文字と小文字は区別されません。

7 すべての設定が終われば 適用 をクリックします。

8 「設定変更を反映します。」と表示されます。 更新 をクリックします。

9 待ち時間が表示され、0秒になると自動的に<セキュリティ設定>画面に戻ります。

10 これで本製品のWEPによるセキュリティ設定は完了です。同じ設定を無線子機側にも設定してください。

- 無線子機側の設定方法は、無線子機のマニュアルをお読みください。

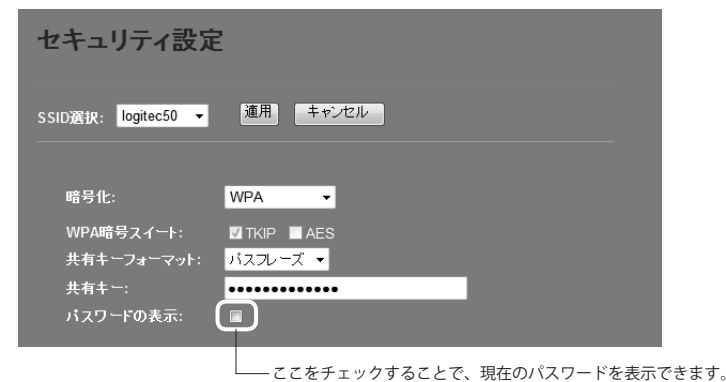
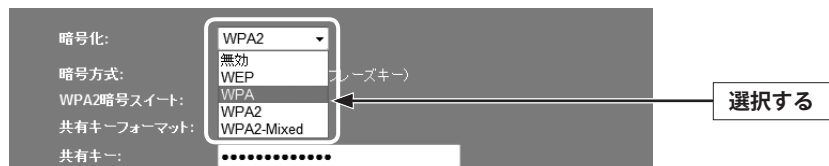
WPA-PSK/WPA2-PSKの設定

WPA-PSK（TKIP）またはWPA2-PSK（AES）を使ってセキュリティ設定をします。WPA2-PSK/WPA-PSKは、小規模なネットワークでも安全度の高いセキュリティを簡単に実現できます。設定にあたっては、あらかじめ「共有キー」を決めておいてください。

本製品および本製品に接続する、すべての無線子機は、各項目の設定値がすべて同一になっている必要があります。設定が一部でも異なっていると無線LANを利用できません。

画面左のメニューリストから［無線設定］→［セキュリティ設定］を選択します。

◆WPA-PSK選択時の設定画面

ここをチェックすることで、現在のパスワードを表示できます。

1 ［暗号化］で、［WPA］、［WPA2］または［WPA2-Mixed］を選択します。

WPA	WPA-PSKを使用します。［WPA暗号スイート］は、自動的に「TKIP」になります。「AES」は選択できません。
WPA2	WPA2-PSKを使用します。［WPA2暗号スイート］は、自動的に「AES」になります。「TKIP」は選択できません。
WPA2-Mixed	無線クライアントにWPA-PSK（「AES」または「TKIP」）とWPA2-PSK（「AES」または「TKIP」）が混在している場合でも、いずれの無線子機とも接続できます。また、無線子機がすべて「WPA2-PSK（TKIP）」の場合も、こちらを選択します。

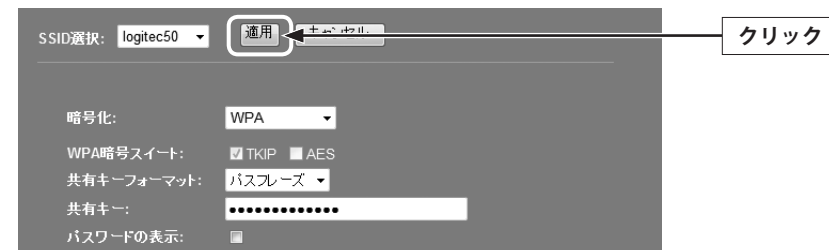
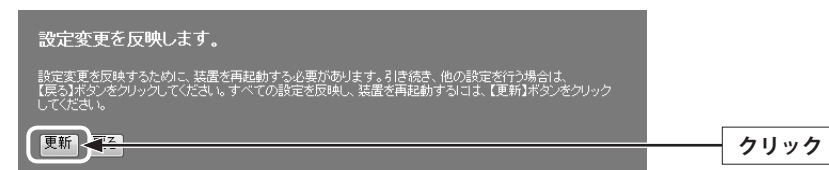
2 ［共有キーフォーマット］で、共有キーの入力形式を選択します。

パスフレーズ	半角英数字（8〜63文字）を使用できます。大文字と小文字が区別されます。
Hex	16進数64文字（固定）を使用できます。大文字と小文字は区別されません。

※16進数とは、半角英数字の0〜9、a-fを組み合わせた文字列です。

3 ［共有キー］に、手順 **2** で選択した入力形式で文字列を入力します。

ここをチェックすることで、現在のパスワードを表示できます。

4 すべての設定が終われば 適用 をクリックします。

5 「設定変更を反映します。」と表示されます。 更新 をクリックします。

6 待ち時間が表示され、0秒になると自動的に<セキュリティ設定>画面に戻ります。

7 これで本製品のWPAによるセキュリティ設定は完了です。同じ設定を無線子機側にも設定してください。

- 無線子機側の設定方法は、無線子機のマニュアルをお読みください。

5 有線設定

有線のLANポートおよびWANポートに関する設定をします。

LAN側設定 画面

本製品のLAN（ローカルネットワーク）側のIPアドレス情報等を設定します。

画面左のメニューリストから［有線設定］→［LAN側設定］を選択します。

設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず［適用］をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は［戻る］を、変更した内容をすぐに有効にする場合は［更新］をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

装置のIPアドレス	本製品のLAN側のIPアドレスです。初期値は「192.168.2.1」です。
サブネットマスク	使用中のネットワークのサブネットマスクを入力します。 初期値は「255.255.255.0」です。
デフォルトゲートウェイ	インターネットなどLANから外部へ接続する場合にデフォルトゲートウェイを設定します。インターネットに接続する場合、ルータのLAN側IPアドレスを入力します。
DHCPクライアントレンジ	DHCPサーバ機能を利用する場合、DHCPサーバがクライアントに自動的に割り付けるIPアドレスの範囲を指定します。開始アドレス～終了アドレスの範囲でクライアントにIPアドレスが自動的に割り当てられます。［クライアントの表示］をクリックすると、接続中のDHCPクライアントのリストが別ウィンドウで表示されます。
固定DHCP	［固定DHCP設定］をクリックすることで、クライアントのMACアドレスと指定したいIPアドレスを関連付けて登録することができます。設定方法についてはP59「固定DHCP設定 画面」をお読みください。

固定DHCP設定 画面

DHCPサーバ機能を有効にしている場合、クライアントには自動的にIPアドレスが割り当てられます。しかし、クライアントのネットワーク機器によっては、特定のIPアドレスを割り当てたい場合があります。クライアントのMACアドレスと指定したいIPアドレスを関連付けて登録することができます。

画面左のメニューリストから［有線設定］→［LAN側設定］を選択し、［固定DHCP設定］をクリックします。

設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず［追加］をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は［戻る］を、変更した内容をすぐに有効にする場合は［更新］をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

●入力・設定画面の内容

固定DHCPを有効にする	この項目をチェックしている場合に、固定DHCPリストの内容が有効になります。チェックしていない場合は、リストに登録されていてもIPアドレスは固定されません。
IPアドレス	クライアントに割り当てるIPアドレスを入力します。
MACアドレス	IPアドレスを固定するクライアントのMACアドレスを入力します。
メモ	自由にコメントを入力できます。登録したクライアントを区別するのに便利です。

●固定DHCPリスト

入力画面で設定した内容をリストとして表示します。［選択］は、登録したクライアントの情報を削除する場合にチェックします。

●各ボタンの機能

追加	リストに新たにIPアドレスを固定するクライアントを追加します。
選択したものを削除	［選択］をチェックしたクライアントをリストから消去します。このボタンをクリックすると確認の画面が表示されますので、OK をクリックします。
全て削除	リストのクライアントの設定をすべて消去します。このボタンをクリックすると確認の画面が表示されますので、OK をクリックします。
キャンセル	［選択］のチェックをすべてクリアします。

固定DHCPの設定方法

❶ ［固定DHCPを有効にする］をチェックします。
❷ クライアントに割り当てたいIPアドレスを入力します。「.」で区切る必要があります。
例 192.168.2.131
❸ クライアントのMACアドレスを入力します。「:」で区切る必要はありません。
例 123456789012
❹ 必要に応じて［メモ］に、コメントを入力します。。
❺ 追加 をクリックすると「設定変更を反映します。」と表示されます。
❻ 登録するクライアントを追加する場合は 戻る を、変更した内容をすぐに有効にする場合は 更新 をクリックし、画面のメッセージに従って操作します。

WAN側設定 画面

本製品のWAN（インターネット）側の設定をします。［WAN側回線種別］で、DHCP・PPPoE・固定IP・マルチPPPoEのいずれを選択するかで、設定画面が異なります。

画面左のメニューリストから［有線設定］→［WAN側設定］を選択します。

WAN側設定

WAN側回線種別: DHCP
ホスト名:
MTU値: 1454 (1400-1492 bytes)
DNSサーバのアドレスを自動的に取得する
次のDNSサーバを使用する
DNS 1:
DNS 2:
DNS 3:
MACアドレスコピー:
UPnPの有効
適用　キャンセル

●「DHCP」を選択した場合　※画面イメージは上記参照

ホスト名	必要に応じて自由にホスト名を入力できます。
MTU値	MTU（Maximum Transmission Unit）、1回の転送で送信できるデータの最大値（単位はバイト）の値（1400～1492）を設定します。通常は変更する必要はありません。（初期値：1454）
DNSサーバの設定	●DNSサーバのアドレスを自動的に取得する プロバイダより自動的にDNSサーバのアドレスを取得する場合に使用します。プロバイダより特に指示がない場合は、こちらを選択します。 ●次のDNSサーバを使用する プロバイダからDNSアドレスの指示があった場合に、こちらを選択します。DNSが1個の場合は「DNS1」に、2～3個の場合は「DNS1」「DNS2」「DNS3」にそれぞれアドレスを入力します。
MACアドレスコピー	インターネット側に本製品ではなく、パソコンのMACアドレスを通知する場合は、ここにパソコンのMACアドレスを入力します。パソコンのMACアドレスによって接続認証を行うようなCATVインターネット接続サービスで使用します。
UPnPの有効	UPnP（Universal Plug and Play）機能の有効/無効を設定します。UPnPを有効にすると、UPnP対応OSでUPnP対応ネットワーク機器を使用した場合に、自動的にLAN内の装置を検出して、正常に認識できるようにします。 （初期値：有効）

設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず［適用］をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は［戻る］を、変更した内容をすぐに有効にする場合は［更新］をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

●「PPPoE」を選択した場合

ユーザ名	プロバイダより提供されたユーザ名を入力します。 ユーザIDに「@」がある場合、ユーザ名のあとに、「@」とご契約のプロバイダの識別子を入力する必要があります。 （例）　userID123 @ logitec.ent ユーザ名　プロバイダ識別子
パスワード	プロバイダより提供されたパスワードを入力します。
サービス名	必要に応じて自由にプロバイダ名などの名称を入力できます。
MTU値	MTU（Maximum Transmission Unit）、1回の転送で送信できるデータの最大値（単位はバイト）の値（1360～1492）を設定します。通常は変更する必要はありません。（初期値：1454）
DNSサーバ設定	**●DNSサーバのアドレスを自動的に取得する** プロバイダより自動的にDNSサーバのアドレスを取得する場合に使用します。プロバイダより特に指示がない場合は、こちらを選択します。 **●次のDNSサーバを使用する** プロバイダからDNSアドレスの指示があった場合に、こちらを選択します。DNSが1個の場合は「DNS1」に、2～3個の場合は「DNS1」「DNS2」「DNS3」にそれぞれアドレスを入力します。

MACアドレスコピー	インターネット側に本製品ではなく、パソコンのMACアドレスを通知する場合は、ここにパソコンのMACアドレスを入力します。パソコンのMACアドレスによって接続認証を行うようなCATVインターネット接続サービスで使用します。
UPnPの有効	UPnP（Universal Plug and Play）機能の有効/無効を設定します。UPnPを有効にすると、UPnP対応OSでUPnP対応ネットワーク機器を使用した場合に、自動的にLAN内の装置を検出して、正常に認識できるようにします。（初期値：有効）

設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず［適用］をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は［戻る］を、変更した内容をすぐに有効にする場合は［更新］をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

●「固定IP」を選択した場合

IPアドレス	プロバイダから提供された情報を入力します。
サブネットマスク	
デフォルトゲートウェイ	
MTU値	MTU（Maximum Transmission Unit）、1回の転送で送信できるデータの最大値（単位はバイト）の値（1400～1500）を設定します。通常は変更する必要はありません。（初期値：1454）
DNS1	プロバイダからDNSアドレスの指示が1個しかない場合は、こちらにだけ入力します。
DNS2	プロバイダからDNSアドレスの指示が2個ある場合は、こちらにセカンダリDNSのアドレスを入力します。

DNS3	プロバイダからDNSアドレスの指示が3個ある場合は、こちらにターシャリDNSのアドレスを入力します。
MACアドレスコピー	インターネット側に本製品ではなく、パソコンのMACアドレスを通知する場合は、ここにパソコンのMACアドレスを入力します。パソコンのMACアドレスによって接続認証を行うようなCATVインターネット接続サービスで使用します。
UPnPの有効	UPnP（Universal Plug and Play）機能の有効/無効を設定します。UPnPを有効にすると、UPnP対応OSでUPnP対応ネットワーク機器を使用した場合に、自動的にLAN内の装置を検出して、正常に認識できるようにします。（初期値：有効）

設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず［適用］をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は［戻る］を、変更した内容をすぐに有効にする場合は［更新］をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

●マルチPPPoEを選択した場合

ユーザ名	プロバイダより提供されたユーザ名を入力します。 ユーザIDに「@」がある場合、ユーザ名のあとに、「@」とご契約のプロバイダの識別子を入力する必要があります。 （例）　userID123 @ logitec.ent ユーザ名　プロバイダ識別子
パスワード	プロバイダより提供されたパスワードを入力します。
サービス名	必要に応じて自由にプロバイダ名などの名称を入力できます。
MTU値	MTU（Maximum Transmission Unit）、1回の転送で送信できるデータの最大値（単位はバイト）の値（1360～1492）を設定します。通常は変更する必要はありません。（初期値：1454）
DNSサーバ設定	**●DNSサーバのアドレスを自動的に取得する** プロバイダより自動的にDNSサーバのアドレスを取得する場合に使用します。プロバイダより特に指示がない場合は、こちらを選択します。 **●次のDNSサーバを使用する** プロバイダからDNSアドレスの指示があった場合に、こちらを選択します。DNSが1個の場合は「DNS1」に、2～3個の場合は「DNS1」「DNS2」「DNS3」にそれぞれアドレスを入力します。
MACアドレスコピー	インターネット側に本製品ではなく、パソコンのMACアドレスを通知する場合は、ここにパソコンのMACアドレスを入力します。パソコンのMACアドレスによって接続認証を行うようなCATVインターネット接続サービスで使用します。
UPnPの有効	UPnP（Universal Plug and Play）機能の有効/無効を設定します。UPnPを有効にすると、UPnP対応OSでUPnP対応ネットワーク機器を使用した場合に、自動的にLAN内の装置を検出して、正常に認識できるようにします。（初期値：有効）
PPPoE2：NTTフレッツサービス用　下記の注記参照	
ユーザ名	プロバイダより提供されたユーザ名を入力します。 ユーザIDに「@」がある場合、ユーザ名のあとに、「@」とご契約のプロバイダの識別子を入力する必要があります。 （例）　userID123 @ logitec.ent ユーザ名　プロバイダ識別子
パスワード	プロバイダより提供されたパスワードを入力します。
サービス名	必要に応じて自由にプロバイダ名などの名称を入力できます。
MTU値	MTU（Maximum Transmission Unit）、1回の転送で送信できるデータの最大値（単位はバイト）の値（1360～1492）を設定します。通常は変更する必要はありません。（初期値：1454）

※フレッツ光ネクストのNGN IPv4サービスには対応しておりません。

設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず［適用］をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は［戻る］を、変更した内容をすぐに有効にする場合は［更新］をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

6 ファイアウォール設定

ポートフォワーディング 画面

ポート転送（ポートフォワーディング）機能を設定します。通常NAT変換を利用するルータでは、WAN（インターネット）側からLAN上のコンピュータにアクセスすることはできませんが、この機能を利用することで、LAN上にある指定されたコンピュータをWAN側に開放することができます。

注 意

この機能を利用する場合で本製品のDHCPサーバ機能を有効にしているときは、P59の【固定DHCP設定画面】で、ポートフォワーディングの対象となるクライアントのIPアドレスを固定するようにしてください。DHCPサーバ機能により動的にIPアドレスが変更されると、意図しないコンピュータがWAN側に開放される恐れがあります。

画面左のメニューリストから［ファイアウォール設定］→［ポート転送］を選択します。

設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず 適用 をクリックして設定を保存してください。

●入力・設定画面の内容

ポートフォワーディングを有効にする	ポートフォワーディング機能を使用する場合はチェックします。
IPアドレス	ポートフォワーディングの対象となるクライアントのIPアドレスを入力します。
プロトコル	プロトコルを選択します。（初期値：TCP/UDP［両方］）
ポート範囲	インターネット側から見た送信先のポート番号の範囲を入力します。
メモ	自由にコメントを入力できます。登録したクライアントを区別するのに便利です。

●現在のポートフィルタテーブル

入力画面で設定した内容をリストとして表示します。［選択］は、登録したクライアントの情報を削除する場合にチェックします。

●各ボタンの機能

選択したものを削除	［選択］をチェックしたクライアント をリストから消去します。このボタンをクリックすると確認の画面が表示されますので、 OK をクリックします。
全て削除	リストのクライアント の設定をすべて消去します。このボタンをクリックすると確認の画面が表示されますので、 OK をクリックします。
キャンセル	［選択］のチェックをすべてクリアします。

ポートフォワーディングの設定方法

❶［ポートフォワーディングを有効にする］をチェックします。
❷［IPアドレス］に対象となるクライアントのIPアドレス を入力します。
「.」で区切る必要があります。
例 192.168.2.131
❸［プロトコル］でプロトコルのタイプを選択します。
❹［ポート範囲］に対象となるポート番号の範囲 を入力します。
❺ 必要に応じて［メモ］に、コメントを入力します。
❻ 適用 をクリックします。
❼ 登録するクライアント が複数ある場合は、❶〜❻を繰り返します。

IPv6 ブリッジ画面

プロバイダから提供されるIPv6サービスを利用できるようにする「IPv6ブリッジ」機能を有効にするか、無効にするかを選択します。

画面左のメニューリストから［ファイアウォール設定］→［IPv6 ブリッジ］を選択します。

設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず［適用］をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は［戻る］を、変更した内容をすぐに有効にする場合は［更新］をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

●IPv6 ブリッジ

IPv6 ブリッジ	プロバイダから提供されるIPv6サービスを、本製品を経由して利用できるようにする「IPv6ブリッジ」機能の有効/無効を設定します。IPv6サービスを利用する場合でも、本製品を経由しない場合は無効にしてもかまいません。（初期値：有効）。

DMZ 画面

通常、NAT変換を利用するルータでは、WAN（インターネット）側からLAN上のパソコンにアクセスすることはできません。DMZ機能を使用すると、指定したコンピュータにWAN側からアクセスできるようになります。これにより、LAN上からは通常使用できない双方向通信を利用したサービスを利用できます。

画面左のメニューリストから［ファイアウォール設定］→［DMZ］を選択します。

設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず［適用］をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は［戻る］を、変更した内容をすぐに有効にする場合は［更新］をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

●入力・設定画面の内容

DMZを有効にする	DMZ機能を使用する場合はチェックします。
DMZホストIPアドレス	インターネット（外部）に公開するWAN側IPアドレスを選択します。 「.」で区切る必要があります。 例 192.168.2.131

7 管理ツール

機器のステータス 画面

本製品に関するさまざまなステータス情報を確認することができます。

画面左のメニューリストから［管理ツール］→［機器のステータス］を選択します。

機器のステータス

システム	
Uptime	0day:1h:10m:51s
ファームウェア Ver.	v1.0.3
Build Time	Mon Sep 5 10:12:28 CST 2011
無線設定状況	
モード	AP
帯域	2.4 GHz (B+G+N)
SSID	logitec
チャンネル	10
暗号化	WPA2
BSSID	00:e0:4c:81:96:c1
関連クライアント数	0
SSID2設定状況	
帯域	2.4 GHz (B+G+N)
SSID	logitec2nd
暗号化	WEP 128bits
BSSID	00:e0:4c:81:96:c2
関連クライアント数	0
LAN側設定	
IPアドレス	192.168.2.1
サブネットマスク	255.255.255.0
DHCP	Server
MACアドレス	00:e0:4c:81:96:c1
WAN側設定	
IPアドレス取得方法	Getting IP from DHCP server...
IPアドレス	0.0.0.0
サブネットマスク	0.0.0.0
デフォルトゲートウェイ	0.0.0.0
MACアドレス	00:e0:4c:81:96:c9

●システム

Uptime	本製品の起動後の経過時間を表示します。電源を切ったり、再起動するとリセットされます。
ファームウェア Ver.	ファームウェアのバージョンを表示します。
Build Time	ファームウェアの作成日を表示します。

●無線設定 状況

モード	現在の無線における通信モードを表示します。本製品で使用可能なモードは、APモードのみです。
帯域	無線LANで使用している周波数帯域と、使用中の無線規格を表示します。
SSID	現在使用中のSSIDを表示します。
チャンネル	現在のチャンネルモードを表示します。
暗号化	現在使用中の暗号化設定を表示します。
BSSID	BSSIDを表示します。
関連クライアント数	このSSIDに接続している無線子機の数です。

●SSID2 設定 状況

帯域	無線LANで使用している周波数帯域と、使用中の無線規格を表示します。
SSID	現在使用中のマルチSSIDのSSIDを表示します。
暗号化	現在使用中の暗号化設定を表示します。
BSSID	BSSIDを表示します。
関連クライアント数	このSSIDに接続している無線子機の数です。

●LAN側設定

IPアドレス	現在のIPアドレスを表示します。
サブネットマスク	現在のサブネットマスクを表示します。
DHCP	DHCP機能の状態を表示します。「Server」と表示されている場合、DHCPサーバ機能が有効になっています。
MACアドレス	本製品のLAN側のMACアドレスを表示します。

●WAN側設定

IPアドレス取得方法	WAN側のIPアドレス取得方法を表示します。
IPアドレス	現在のIPアドレスを表示します。
サブネットマスク	現在のサブネットマスクを表示します。
デフォルトゲートウェイ	現在のデフォルトゲートウェイを表示します。
MACアドレス	本製品のWAN側のMACアドレスを表示します。

DDNS設定 画面

DDNS（ダイナミックDNS）を利用すると、WAN側が固定IPアドレスでなくても、ホスト名を使ってサーバなどを利用できるようになります。この機能を利用するには、ダイナミックDNSのサービス提供者に登録する必要があります。ダイナミックDNS はサービスリストに表示されるサービスでご利用いただけます。

●あらかじめDDNSサービスに登録しておいてください
DDNS サイトにアクセスしてユーザー登録し、ドメイン名やアカウントなどを取得しておいてください。

●DDNSサービスを利用するにあたって

- DDNSサービスへの登録については、弊社のサポート対象外となります。登録に関しては、一切責任を負いかねます。
- Clear-net（クリアネットサービス）とは、対象の弊社製品をユーザ登録してご利用いただいている方に無償で提供されるダイナミックDNSサービスです。クリアネットサービスへの登録については、弊社ホームページで詳細をご確認のうえ、ご利用ください。
- DDNSサービスによっては、定期的に更新をしないと登録が削除されてしまうことがあります。登録の更新は、本製品がインターネットに接続されているときに自動的におこなわれるほか、手動で更新する場合もあります。更新期間などの詳細はご利用になるDDNSサイトをご覧ください。

画面左のメニューリストから［管理ツール］→［DDNS］を選択します。

設定を変更した場合
設定を変更した場合は、必ず［適用］をクリックして設定を保存してください。

●入力・設定画面の内容

項目	内容
DDNSを有効にする	ダイナミックDNSを利用する場合はチェックします。
プロバイダ	リストから登録したサービスを選択します。
アカウント	登録したアカウントを入力します。DDNSサービスによってはアカウントがEメールアドレスの場合があります。
パスワード/キー	設定したパスワードまたはキーを入力します。

ファームウェア更新 画面

機能の充実や改良により、本製品のファームウェアをバージョンアップすることがあります。ファームウェアは、弊社Web サイトのサポートページよりダウンロードできます。

左のメニューリストから［管理ツール］→［ファームウェア更新］を選択します。

ファームウェアの更新手順

❶ 弊社Webサイトなどからあらかじめ最新のファームウェアをダウンロードして、デスクトップなどに保存しておきます。
・ ダウンロード前に注意事項などがないか、ダウンロードページでご確認ください。
❷ ［参照］をクリックします。
❸〈アップロードするファイルの選択〉画面が表示されますので、ダウンロードしたファイルを指定します。
❹ ［実行］をクリックします。
❺ アップデートを確認するメッセージが表示されますので、［OK］をクリックします。
❻ アップデート中の注意事項が表示されますので内容を確認のうえ、［OK］をクリックします。
❼ アップデートが完了すると「アップデートが完了しました。」と表示されます。
❽ 本製品背面にあるDCジャックからDCプラグを抜き差しして電源を入れ直します。
本製品が再起動し、新しいファームウェアで動作するようになります。

パスワード設定 画面

本製品の設定ユーティリティにログインするための、ユーザー名とパスワードを設定/変更します。

画面左のメニューリストから［管理ツール］→［パスワード設定］を選択します。

注 意

●パスワードの変更をお勧めします
設定ユーティリティへのパスワードが初期値のままだと、各種設定情報を自由に閲覧したり、パスワードを変更したりすることができます。設定ユーティリティのログインパスワードの変更をお勧めします。

●変更後のユーザー名とパスワードを忘れないでください
変更後のユーザー名とパスワードを忘れると、本製品を初期化する必要があります。すべての設定が初期化されますので、ユーザー名、パスワードは忘れないようにしてください。

設定の手順

❶ ［ユーザ名］に、新しく設定するユーザー名を入力します。
❷ ［パスワード］に、新しく設定するパスワードを入力します。
❸ ［新パスワード再入力］に、もう一度、新しいパスワードを入力します。
❹ ［適用］をクリックします
❺「設定変更を反映します。」と表示され、待ち時間が表示されます。
0秒になると、自動的に認証画面が表示されます。
❻ 新しく設定したユーザー名とパスワードを入力し、［OK］をクリックします。
・ インターネット接続ウィザードのトップ画面が表示されます。

Appendix

付録編

1 サービス情報サイト使用時の設定

本製品でNTT東日本、NTT西日本のサービス情報サイトを利用する場合の設定手順を説明します。このマニュアルのP64「●マルチPPPoEを選択した場合」や、NTT東日本またはNTT西日本のホームページにある説明もご参照ください。

※「フレッツ・スクウェア」は、平成23年6月1日より「サービス情報サイト」に名称を変更しました。

ここでは、「WAN側回線種別」の下の入力欄に、通常のインターネット接続で使用するアカウントを、「PPPoE 2：NTTフレッツサービス用」の入力欄に、サービス情報サイトで使用するアカウントを登録する例を説明します。

本製品はフレッツ光ネクストのNGN IPv4サービスはサポートしておりません。接続にはBフレッツ等の設定方法を使用する必要がありますので、ご注意ください。

1 **設定ユーティリティで、画面左のメニューリストから［有線設定］→［WAN側設定］を選択します（→ P64「●マルチPPPoEを選択した場合」）。**

2 **「WAN側回線種別」で［マルチPPPoE］を選択します。画面が2つのアカウントを登録可能な画面に切り替わります。**

3 **「WAN側回線種別」の下の入力欄に、通常のインターネット接続で使用するアカウント（ユーザー名とパスワード）を登録します。**

4 **引き続き「PPPoE 2：NTTフレッツサービス用」の入力欄に、サービス情報サイトで使用するアカウントを登録します。**

NTT東日本	ユーザー名：guest@flets	パスワード：guest
NTT西日本	ユーザー名：guest	パスワード：flets

5 **すべての設定が終われば、［適用］をクリックします。**

6 **「設定変更を反映します。」と表示されます。**

●他の設定を続ける場合→［戻る］をクリックします。引き続き他の項目を設定します。

●変更した設定を保存して有効にする場合→［更新］をクリックし、手順 7 へ進みます。

7 **待ち時間が表示され、0秒になると自動的に〈WAN側設定〉画面に戻ります。**

8 **ブラウザをいったん閉じます。サービス情報サイトにアクセスするには、Webブラウザのアドレス入力欄に、「http://www.flets/」と入力し、ホームページに接続します。**

2 こんなときは

本製品に付属の紙版マニュアル「はじめにお読みください」のP4「こんなときには」もご参照ください。

無線LAN関係のトラブル

添付CD-ROMのセットアップメニューから閲覧できる「FAQ」もご参照ください。

●無線LANがつながらない。

①ネットワーク設定で実際のネットワーク環境に応じたプロトコル、サービスなどの設定をしていますか？　プロトコル（TCP/IPなど）、クライアント（Microsoft Networkクライアントなど）、サービス（Microsoft Network共有サービスなど）を環境に応じて設定する必要があります。

②ルータなどのDHCPサーバ機能を使用せずにインターネットプロトコル「TCP/IP」を利用する場合は、各パソコンに手動でIPアドレスを割り当てる必要があります。

◆CATVインターネットなどでは、回線事業者からIPアドレスを指定される場合があります。その場合は指示に従ってください。

③本製品のセキュリティ設定やアクセスポイントのMACアドレスフィルタリング設定は正しいですか？　セキュリティ設定は、無線LANネットワーク上にあるすべての機器で同じ設定にする必要があります。また、MACアドレスフィルタリングを設定していると、設定条件によっては無線LANに接続できない場合があります。

●セキュリティ機能を設定後に無線LANがつながらない。

①セキュリティ設定は、同じ無線LANネットワーク上にあるすべての機器で同じ設定になっている必要があります。設定が少しでも異なる機器はネットワークに接続することができません。

②各セキュリティ機能で使用するパスワードや暗号などの文字列は大文字と小文字が区別されたりします。また、意味のない文字列は入力ミスが発生しやすいので特に注意して確認してください。

◆セキュリティ設定でのトラブルのほとんどがスペルミスや設定ミスですのでよく確認してください。

③設定を変更した直後や設定が正しい場合は、アクセスポイントを含め、すべての機器の電源を入れ直してから接続してみてください。

●WPSがつながらない。

①WPSランプが速く点滅している場合は、エラーが発生している可能性があります。もう一度初めからやりなおしてください。繰り返し接続に失敗するようであれば、他の接続方法を試してみてください。

②入力したPINコードが誤っていることがあります。再度PINコードを自動生成して接続してください。繰り返し接続に失敗するようであれば、他の接続方法を試してみてください。

共通のトラブル

●インターネットに接続できない。

①TCP/IPプロトコルが正しく設定されているかを確認してください。
〈ネットワーク〉画面でTCP/IPプロトコルが設定されているかを調べてください。見あたらない場合は、TCP/IPプロトコルを追加してください。

②DHCPサーバ機能を使用していない場合は、IPアドレスを手動で割りあててください。
TCP/IPのプロパティにある<IPアドレス>タブで設定します。

③TCP/IPプロトコルの設定が正しいかを確認してください。
プロバイダによって、IPアドレスを自動取得する場合と固定IPアドレスを指定する場合があります。プロバイダから提供されるマニュアルで確認の上、正しい設定をおこなってください。

④プロバイダから提供された情報をすべて設定したかを確認してください。
IPアドレス以外にも、識別情報の指定などが必要なことがあります。プロバイダから提供されるマニュアルで確認の上、正しい設定をおこなってください。

●本製品の設定は正常に終了したが、ネットワークパソコンを開くと「ネットワークを参照できません。」のエラーが表示される。

①正常にネットワークの設定ができていない可能性があります。もう一度、デバイスマネージャなどで本製品の設定を確認し、OS側が本製品を正常に認識しているか調べてください。

●他のパソコンのファイルやプリンタの共有ができない。

①ネットワーク設定をしましたか？
無線LANが正常に動作していてもネットワーク設定ができていないとファイルの共有やプリンタの共有はできません。

3 パソコンのIPアドレスの確認方法

本製品の設定ユーティリティにアクセスできない場合に、本製品の設定ユーティリティにアクセスするパソコンのIPアドレスがどのようになっているかを確認する方法を説明します。ここで説明しているIPアドレスの確認方法は、本製品に接続する有線クライアントおよび無線子機のIPアドレスを確認するときにも使用できます。

パソコンのIPアドレスを表示する

Windows 7/Vistaの場合　※画面はWindows Vistaの例です。

❶［スタート］→［すべてのプログラム］→［アクセサリ］→［コマンドプロンプト］の順にクリックします。

❷〈コマンドプロンプト〉画面が表示されます。「>」のあとにカーソルが点滅している状態で、キーボードから「ipconfig」と入力し、［Enter］キーを押します。

```
Microsoft Windows [Version 6.0.60000]
Copyright (c) 2006 Microsoft Corporation.  All rights reserved.

C:Users¥master>ipconfig
```

※入力する文字は半角英数字です。入力ミスをした場合は、［BackSpace］キーを押して間違った文字のところまで削除して戻ります。このとき、途中の文字だけを削除することはできません。
「"xxx"は、内部コマンド･･･」と表示された場合は、入力ミスです。もう一度入力してください。

❸「イーサネット　アダプタ　ローカル　エリア接続※」の「IPv4アドレス」に現在のIPアドレス「192.168.xxx.xxx」が表示されます（xxxは任意の数字）。

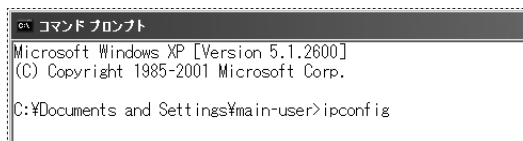
```
イーサネット　アダプタ　ローカル　エリア接続：


接続固有の DNS サフィックス . . . :
リンクローカル IPv6 アドレス. . . . : fe80::b0ac:15cf:beb9:d431%8
IPv4 アドレス . . . . . . . . . . : 192.168.2.100
サブネット マスク . . . . . . . . : 255.255.255.0
デフォルト ゲートウェイ . . . . . : 192.168.2.1
```

※本製品に接続しているクライアントの種類によって表記は異なります。

❹本製品を工場出荷状態（初期値）で使用している場合に、パソコンで表示されるIPアドレスの内容については、P84「工場出荷時での表示結果」をお読みください。

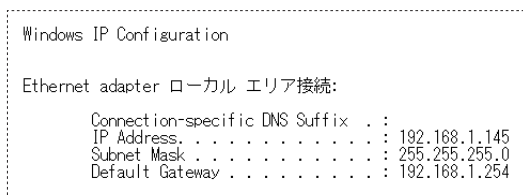
Windows XP/2000の場合

❶ [スタート]→[(すべての) プログラム]→[アクセサリ]→[コマンドプロンプト]の順にクリックします。

❷ 〈コマンドプロンプト〉画面が表示されます。「>」あとにカーソルが点滅している状態で、キーボードから「ipconfig」と入力し、[Enter]キーを押します。

```
コマンド プロンプト
Microsoft Windows XP [Version 5.1.2600]
(C) Copyright 1985-2001 Microsoft Corp.

C:¥Documents and Settings¥main-user>ipconfig
```

※入力する文字は半角英数字です。入力ミスをした場合は、[BackSpace]キーを押して間違った文字のところまで削除して戻ります。このとき、途中の文字だけを削除することはできません。

「"xxx"は、内部コマンド・・・」と表示された場合は、入力ミスです。もう一度入力してください。

❸「イーサネット　アダプタ　ローカル　エリア接続※」の「IP Address」に現在のIPアドレス「192.168.xxx.xxx」が表示されます（xxxは任意の数字）。

```
Windows IP Configuration

Ethernet adapter ローカル エリア接続:

        Connection-specific DNS Suffix  . :
        IP Address. . . . . . . . . . . . : 192.168.1.145
        Subnet Mask . . . . . . . . . . . : 255.255.255.0
        Default Gateway . . . . . . . . . : 192.168.1.254
```

※本製品に接続しているクライアントの種類によって表記は異なります。

❹ 本製品を工場出荷状態（初期値）で使用している場合に、パソコンで表示されるIPアドレスの内容については、P84「工場出荷時での表示結果」をお読みください。

工場出荷時での表示結果

本製品から正常にIPアドレスが割り当てられていると、各パソコンのIPアドレスは「192.168.2.xxx」と表示されます。「xxx」は任意の数字（初期値：100～200のいずれか）です。またサブネットマスクが「255.255.255.0」、デフォルトゲートウェイが「192.168.2.1」と表記されていれば、本製品と正常に接続されています。

4 基本仕様

無線LAN部

項目	内容
規格	IEEE802.11n / IEEE802.11g / IEEE802.11b
周波数帯域	2412～2472MHz（2.4GHz帯）
チャンネル	Auto/1～13ch
伝送方式	11n：OFDM方式　11g：OFDM方式　11b：DS-SS方式
データ転送速度（理論値）	11n適用時：最大300Mbps 11g：54/48/36/24/18/12/9/6Mbps 11b：11/5.5/2/1Mbps
アクセス方式	インフラストラクチャ（親機）
アンテナ方式	外付アンテナ2本（送信2本、受信2本、MIMO方式）
セキュリティ	SSID（ステルス設定可）、マルチSSID、WEP64/128ビット、WPA-PSK（TKIP）、WPA2-PSK（AES）
設定方式	WPS2.0（ボタン搭載）

WAN/有線LAN部

項目	内容
規格	WAN： IEEE802.3ab（1000BASE-T）、IEEE802.3u（100BASE-TX）、IEEE802.3（10BASE-T）、IEEE802.3x（Flow Control） LAN： IEEE802.3ab（1000BASE-T）、IEEE802.3u（100BASE-TX）、IEEE802.3（10BASE-T）、IEEE802.3x（Flow Control）
コネクタ	WAN：RJ-45×1ポート、LAN：RJ-45×4ポート
Auto MDI/MDIX	対応
オートネゴシエーション	対応

ルータ、その他一般仕様

項目	内容
ルーティング対応プロトコル	TCP/IP
インターネット（WAN）接続方式	PPPoE認証接続（2セッション）、IPアドレス自動取得接続、IPアドレス固定接続
LAN接続方式設定	DHCPサーバ（有効/無効）、固定IPアドレス（手動設定）
ローカルサーバ機能	ポートフォワーディング、仮想DMZ
ダイナミックDNS（DDNS）	クリアネット（ロジテック提供サービス）、DynDNS等
消費電力（定格）	5W
外形寸法	LAN-W300N/PGRB：幅102×奥行70×高さ14.3mm LAN-W300N/IGRB： 幅122×奥行70×高さ14.8mm
質量	LAN-W300N/PGRB：約63.5g（ACアダプタは含まず） LAN-W300N/IGRB： 約83g（電源ケーブルは含まず）

300Mbps対応ギガビットイーサ　超小型無線LANルータ
LAN-W300N/PGRB・LAN-W300N/IGRB
ユーザーズマニュアル

発行 2011年9月28日　第1版